会議録

令和3年第1回更別村議会定例会

第4日 (令和3年3月17日)

◎議事日程(第4日)

- 第 1 会議録署名議員指名の件
- 第 2 議会運営委員長報告
- 第 3 議案第43号 令和3年度更別村一般会計予算の件
- 第 4 議案第44号 令和3年度更別村国民健康保険特別会計予算の件
- 第 5 議案第45号 令和3年度更別村後期高齢者医療事業特別会計予算の件
- 第 6 議案第46号 令和3年度更別村介護保険事業特別会計予算の件
- 第 7 議案第47号 令和3年度更別村簡易水道事業特別会計予算の件
- 第 8 議案第48号 令和3年度更別村公共下水道事業特別会計予算の件
- 第 9 村政に関する一般質問

◎出席議員(8名)

議長 8番	高木修一	副議長 7番	織田忠司
1番	遠藤久雄	2番	上田幸彦
3番	小谷文子	4番	松橋昌和
5番	太田綱基	6番	安村敏博

◎欠席議員(0名)

◎地方自治法第121条の規定による説明員

村長	西山猛	副村長	西海健
教育長	荻原正	農業委員会長	道見克浩
代表監査委員	笠原幸宏	会計管理者	安部昭彦
総務課長	末田晃啓	総務課参事	女ヶ澤廣美
企画政策課長	佐藤敬貴	企画政策課参事	高田大資
産業課長	本内秀明	住民生活課長	小野寺達弥
建設水道課長	佐藤成芳	保健福祉課長	新関保
子育て応援課長	石川亮	診療所事務長	酒井智寛
教育委員会教育次長	小林浩二	農業委員会事務局長	川上祐明

◎職務のため出席した議会事務局職員

事務局長 高橋 祐二
書記 加藤 廣衛

書 記 高瀬 大輔

(午前10時00分開議)

◎開議宣告

- 議長 ただいまの出席議員は8名であります。
定足数に達しております。これより直ちに本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。

◎日程第1 会議録署名議員指名の件

- 議長 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、議長において2番、上田さん、3番、小谷さんを指名いたします。

◎日程第2 議会運営委員長報告

- 議長 日程第2、議会運営委員長報告を行います。
議会運営委員会に諮問いたしました本定例会の議事運営等に関し、協議決定した内容についての報告を求めます。
安村議会運営委員長。
○安村議会運営委員長 議会運営委員会において協議決定した内容をご報告いたします。
第1回議会定例会の追加提出案件に関して議長から諮問がありましたので、これに応じ3月17日午前9時より議会運営委員会を開き、付議事件及び議事日程並びに会期等について慎重に協議をいたしました。
追加提出案件の状況などを考慮し、検討した結果、会期に変更はなく、3月18日までの9日間と認められました。
以上、委員会での結果をご報告申し上げましたが、本定例会の議事運営が円滑に行われますようよろしくお願い申し上げます。
○議長 委員長の報告が終わりました。
なお、ただいまの委員長報告に対する質疑は省略いたします。

◎日程第3 議案第43号ないし日程第8 議案第48号

- 議長 日程第3、議案第43号 令和3年度更別村一般会計予算の件から日程第8、議案第48号 令和3年度更別村公共下水道事業特別会計予算の件までの6件を一括議題といたします。
お諮りいたします。議案第43号 令和3年度更別村一般会計予算の件から議案第48号 令和3年度更別村公共下水道事業特別会計予算の件までの6件につきましては、本会議での質疑を3回までとする会議規則第55条の規定を適用しないで審議を進めたいと思います。これにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長 異議なしと認めます。

したがって、議案第43号 令和3年度更別村一般会計予算の件から議案第48号 令和3年度更別村公共下水道事業特別会計予算の件までの6件につきましては、会議規則第55条の規定を適用しないで審議を進めることに決定しました。

3月16日に引き続き審議を続けます。

一般会計歳入予算の質疑に入ります。歳入も款ごとに進めます。

款1村税に入ります。

補足説明を求めます。

末田総務課長。

○総務課長 それでは、一般会計歳入の補足説明をさせていただきます。

補足説明につきましては、歳出の説明と重なる部分も多いことから、本年度予算額を申し上げ、主な内容に絞っての説明とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

8ページを御覧ください。款1村税、項1村民税、目1個人は、予算額2億4,809万3,000円で、前年度比較1,436万8,000円、5.47%の減となっています。前年の所得状況を見込み、計上しております。

目2法人は、予算額2,527万1,000円で、前年度比較127万円、4.79%の減となっています。前年の法人の所得状況を見込み、計上をしております。

項2目1固定資産税は、予算額3億1,160万6,000円で、前年度比較1,653万4,000円の減となっています。新型コロナウイルス感染症の影響で事業収入が減少している中小企業者、小規模事業者に対して行われる固定資産税の減免に伴う減収を見込み、計上しております。

目2国有資産等所在市町村交付金及び納付金は、予算額37万1,000円で、前年度比較2万7,000円の減となっております。

項3軽自動車税、目1軽自動車税種別割は、予算額1,285万5,000円で、前年度比較39万5,000円の増。

目2軽自動車税環境性能割は、予算額60万9,000円で、前年度比較12万6,000円の増により計上しております。過去の登録の状況を勘案し、計上しております。

9ページを御覧ください。項4目1たばこ税は、予算額1,928万4,000円で、前年度比較97万2,000円の増により計上しております。過去の収入状況を勘案し、計上しております。

以上で補足説明を終わります。

○議 長 款1村税の説明が終わりました。

質疑の発言を許します。

(なしの声あり)

○議 長 これで款1村税を終わります。

款2地方譲与税、款3利子割交付金、款4配当割交付金、款5株式等譲渡所得割交付金、款6法人事業税交付金、款7地方消費税交付金、款8環境性能割交付金、款9地方特例交付金に入ります。

一括して補足説明を求めます。

末田総務課長。

○総務課長 それでは、補足説明を申し上げます。

款2 地方譲与税、項1目1 地方揮発油譲与税は、予算額3,145万2,000円、前年度比較747万5,000円の減となっています。過去の交付実績を勘案し、計上しております。

項2目1 自動車重量譲与税は、予算額9,153万9,000円、前年度比較367万6,000円の減となっております。過去の交付実績を勘案し、計上しております。

項3目1 地方道路譲与税は、予算額1,000円、前年度と比較して皆増となっています。地方道路税は、平成21年度に地方揮発油譲与税に改められましたが、法改正前に課税された道路特定財源分は引き続き地方道路譲与税として譲与される場合があるため計上するものでございます。

項4目1 森林環境譲与税は、予算額366万9,000円、前年度と同額となっております。

11ページを御覧ください。款3項1目1 利子割交付金は、予算額54万4,000円、前年度比較3万5,000円の減となっております。過去の交付実績を勘案し、計上しております。

12ページを御覧ください。款4項1目1 配当割交付金は、予算額95万円、前年度比較8万円の増となっています。過去の交付実績を勘案し、計上しております。

13ページを御覧ください。款5項1目1 株式等譲渡所得割交付金は、予算額80万3,000円、前年度比較6万6,000円の増となっています。過去の交付実績を勘案し、計上しております。

14ページを御覧ください。款6項1目1 法人事業税交付金は、予算額400万円、前年度と比較して皆増となっています。法人が事業を行うに当たって利用している公共サービスや公共施設について、その経費の一部を負担する目的で課税される法人事業税の7.7%が都道府県から市町村に交付されるもので、前年度の交付実績を勘案し、計上しております。

15ページを御覧ください。款7項1目1 地方消費税交付金は、予算額5,524万5,000円、前年度比較で922万2,000円の減となっています。過去の交付実績を勘案し、計上しております。

16ページを御覧ください。款8項1目1 環境性能割交付金は、予算額906万8,000円、前年度比較225万2,000円の減となっています。過去の交付実績を勘案し、計上しております。

17ページを御覧ください。款9項1目1 地方特例交付金は、予算額438万7,000円、前年度比較320万7,000円の増となっています。自動車税減収補填特例交付金295万円、軽自動車税減収補填特例交付金16万5,000円は、計上科目の見直しにより皆増となっています。

項2目1 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金は、予算額1,106万1,000円で、前年度と比較して皆増となっています。新型コロナウイルス感染症の影響で事業収入が減少している中小企業者、小規模事業者に対して行われる固定資産税の減免に伴う減収を補填するため交付されるものでございます。

なお、自動車税減収補填特例交付金、軽自動車税減収補填特例交付金を項1目1 地方特

例交付金で計上することに改めたことから、減収補填特例交付金は項を廃止し、167万2,000円は皆減となっています。

以上で補足説明を終わります。

○議 長 款2地方譲与税から款9地方特例交付金までの説明が終わりました。

一括して質疑の発言を許します。ありませんか。

(なしの声あり)

○議 長 これで款2地方譲与税から款9地方特例交付金までを終わります。

款10地方交付税、款11交通安全対策特別交付金に入ります。

一括して補足説明を求めます。

末田総務課長。

○総務課長 款10項1目1地方交付税は、予算額18億7,500万円、前年度比較4,500万円の減となっています。説明欄、普通交付税は17億2,500万円で、前年度比較6,500万円の減により計上しています。基準財政需要額のうち公債費の減少が見込まれることから、減額により計上するものでございます。特別交付税は、緊急の財政需要に対する財源不足額に見合いの額として交付されるもので、過去の交付実績を勘案し、前年度比較2,000万円の増により計上しています。

19ページを御覧ください。款11項1目1交通安全対策特別交付金は、予算額74万円、前年度比較で4万5,000円の減となっています。過去の交付実績を勘案し、計上しています。

以上で補足説明を終わります。

○議 長 款10地方交付税、款11交通安全対策特別交付金の説明が終わりました。

一括して質疑の発言を許します。

(なしの声あり)

○議 長 これで款10地方交付税、款11交通安全対策特別交付金を終わります。

款12分担金及び負担金、款13使用料及び手数料に入ります。

一括して補足説明を求めます。

末田総務課長。

○総務課長 款12分担金及び負担金、項1分担金、目1農林水産業費分担金は、予算額6,977万5,000円、前年度比較2,006万円の増となっております。道営畑総担い手育成型事業更別第3地区分担金で2,009万5,000円の増により計上しております。

項2負担金、目1民生費負担金は、予算額1,241万4,000円、前年度比較3万8,000円の増となっております。学童保育所入所者費用徴収金、保育所入所者費用徴収金を計上しております。

21ページを御覧ください。款13使用料及び手数料、項1使用料、目1総務使用料は、予算額1,724万4,000円、前年度比較14万円の減となっております。定住化促進住宅使用料、各種施設使用料及び村有地使用料を過去の実績を勘案して計上しております。

22ページを御覧ください。目2民生使用料は、予算額1,495万円、前年度比較67万9,000

円の増となっております。福祉の里総合センター給食部門利用料は、生活支援ハウス入居者、診療所入院患者等の給食利用料で、過去の実績、入居状況、入院状況を勘案し、58万3,000円の増により計上しております。

23ページを御覧ください。目3衛生使用料は、予算額29万2,000円、前年度比較9,000円の減となっております。火葬場、墓地の使用料を計上しております。

目4農林水産使用料は、予算額708万5,000円、前年度比較334万8,000円の減となっております。牧場入牧使用料を入牧希望頭数調査の結果により計上しております。

目5土木使用料は、予算額7,745万2,000円、前年度比較118万9,000円の増となっております。道路占用使用料などの土木管理使用料、公営住宅等の住宅使用料を計上しております。

目6教育使用料は、予算額406万4,000円、前年度比較1万1,000円の減となっております。更別幼稚園延長保育料、認定こども園上更別幼稚園保育料などを計上しております。

24ページを御覧ください。項2手数料、目1総務手数料は、予算額155万3,000円、前年度比較18万2,000円の減となっております。戸籍住民票等手数料、自動車臨時運行許可手数料を計上しております。

目2衛生手数料は、予算額1,119万6,000円、前年度比較3万3,000円の減となっております。一般廃棄物処理手数料、し尿処理手数料等を計上しております。

目3農林水産手数料は、予算額5万9,000円、前年度比較1万3,000円の減となっております。農業経営基盤強化促進事業嘱託登記手数料等を計上しております。

以上で補足説明を終わります。

○議 長 款12分担金及び負担金、款13使用料及び手数料の説明が終わりました。

一括して質疑の発言を許します。ありませんか。

(なしの声あり)

○議 長 これで款12分担金及び負担金、款13使用料及び手数料を終わります。

款14国庫支出金、款15道支出金に入ります。

一括して補足説明を求めます。

末田総務課長。

○総務課長 款14国庫支出金、項1国庫負担金、目1民生費国庫負担金は、予算額8,130万8,000円、前年度比較126万2,000円の増となっております。児童手当負担金は、対象児童の減少により218万4,000円の減により計上しております。障害者介護給付費等負担金は241万4,000円の増、介護保険事業負担金、低所得者保険料軽減負担金は76万5,000円の増となっております。

目2衛生費国庫負担金は、予算額20万5,000円、前年度比較7,000円の増となっております。児童保健事業費負担金を計上しております。

項2国庫補助金、目1総務費国庫補助金は、予算額1,892万9,000円、前年度比較2,636万4,000円の減となっております。社会保障・税番号制度システム整備補助金は、自治体中間

サーバープラットフォームの次期システム構築に係る負担金等222万9,000円の減により計上しております。また、地方創生推進交付金は、地方創生コンサルティング業務、さらべつ版CCRCプロジェクトに係る交付金が皆減となったことなどから2,413万5,000円の減により計上しております。

目2民生費国庫補助金は、予算額6,499万1,000円、前年度比較515万円の減となっております。子どものための教育・保育給付費交付金を548万1,000円の減で計上したことによるものでございます。

26ページを御覧ください。目3衛生費国庫補助金は、予算額109万2,000円、前年度比較52万4,000円の減となっております。風しんの追加対策事業費補助金を42万8,000円の減により計上しております。

目4土木費国庫補助金は、予算額3,025万6,000円、前年度比較7,427万4,000円の減となっております。社会資本整備総合交付金の減によるもので、前年度計上した公営住宅整備事業分7,226万6,000円、公営住宅改修事業分1,984万5,000円がいずれも皆減となっております。なお、道路メンテナンス補助金1,653万1,000円は皆増となっております。

目5教育費国庫補助金は、予算額45万3,000円、前年度比較2,388万7,000円の減となっております。前年度、節1小学校費補助金、節2中学校費補助金、それぞれにおいて計上したICT整備事業補助金2,379万4,000円が皆減となったことによるものでございます。

目6農林水産業費国庫補助金は、予算額3,805万3,000円、前年度比較1,537万2,000円の増となっております。農業経営高度化支援事業更別第2地区補助金で264万5,000円、同第3地区補助金で1,272万7,000円の増により計上しております。

27ページを御覧ください。項3委託金、目1総務費委託金は、予算額19万1,000円、前年度比較8万3,000円の減となっております。自衛官募集事務委託金等を計上しております。

目2民生費委託金は、予算額140万3,000円、前年度比較3万6,000円の増となっております。国民年金事務委託金、特別児童扶養手当事務委託金等を計上しております。

28ページを御覧ください。款15道支出金、項1道負担金、目1民生費道負担金は、予算額4,876万3,000円、前年度比較87万2,000円の増となっております。児童手当負担金は66万3,000円の減、障害者介護給付費等負担金は120万7,000円の増、後期高齢者医療保険基盤安定拠出金は41万7,000円の減により計上しております。

目2衛生費道負担金は、予算額10万2,000円、前年度比較3,000円の増となっております。児童保健事業費負担金を計上しております。

項2道補助金、目1総務費道補助金は、予算額1,637万1,000円、前年度比較79万9,000円の減となっております。森林環境保全整備事業補助金は127万9,000円の減となっており、地域少子化対策重点推進交付金75万円は皆増となっております。

29ページを御覧ください。目2民生費道補助金は、予算額4,766万6,000円、前年度比較572万7,000円の減となっております。重度心身障害者医療費助成事業補助金を120万円の減、子どものための教育・保育給付費交付金を315万4,000円の減により計上したこと、また前

年度計上いたしました子ども・子育て支援事業費補助金197万6,000円が皆減となったことが主な要因でございます。

目3衛生費道補助金は、予算額254万8,000円、前年度比較6万8,000円の減となっております。乳幼児医療費補助金等を計上しております。

30ページを御覧ください。目4農林水産業費道補助金は、予算額1億1,961万円、前年度比較1,081万8,000円の減となっております。環境保全型農業直接支払交付金は126万6,000円の減、多面的機能支払事業補助金は216万4,000円の増により計上しております。また、前年度計上いたしました農業競争力基盤強化特別対策事業補助金1,134万円は皆減となっております。

項3委託金、目1総務費委託金は、予算額848万8,000円、前年度比較68万2,000円の増となっております。節1総務管理費委託金で公害防止事務委託金、土地利用規制等対策委託金を、節2戸籍・住民基本台帳費委託金で人口動態調査事務委託金、旅券事務委託金を計上しております。31ページを御覧ください。節3徴税費委託金は、道民税徴収委託金を計上しております。節4統計調査費委託金は、前年度に計上いたしました国勢調査に係る委託金225万7,000円が皆減となっております。節5選挙費委託金で今年度執行されます衆議院議員選挙に係る委託金272万5,000円を計上しております。

目2衛生費委託金は、予算額2万8,000円、前年度比較1万5,000円の減となっております。浄化槽設置届出等事務委託金を計上しております。

目3農林水産業費委託金は、予算額230万6,000円、前年度比較86万円の増となっております。道営農業農村整備事業監督等補助業務委託金を76万1,000円増により計上しております。

32ページを御覧ください。目4商工費委託金は、予算額553万1,000円、前年度比較10万5,000円の増となっております。駐車公園管理委託金等を計上しております。

目5土木費委託金は、予算額9万5,000円、前年度比較3,000円の増となっております。建物調査委託金等を計上しております。

以上で補足説明を終わります。

○議長 款14国庫支出金、款15道支出金の説明が終わりました。

一括して質疑の発言を許します。ありませんか。

(なしの声あり)

○議長 長 これて款14国庫支出金、款15道支出金を終わります。

款16財産収入、款17寄附金、款18繰入金、款19繰越金、款20諸収入、款21村債に入ります。

一括して補足説明を求めます。

末田総務課長。

○総務課長 款16財産収入、項1財産運用収入、目1財産貸付収入は、予算額580万円で、前年度比較78万4,000円の減となっております。土地貸付収入、建物貸付収入、物品貸付収入を計上しております。

目2 利子及び配当金は、予算額13万2,000円で、前年度比較52万1,000円の減となっています。各基金において定期預金利率の低下により前年度と比較して減額となっております。

34ページを御覧ください。項2 財産売払収入、目1 不動産売払収入は、予算額2,518万8,000円で、前年度比較1,720万8,000円の増となっています。新たに新コムニ団地などの宅地分譲地売払収入2,016万5,000円を計上しております。立木売払収入は、前年度比較295万7,000円の減となっております。

目2 物品売払収入は、予算額101万6,000円で、前年度比較238万5,000円の減となっています。間伐材等の売払いに係る収入で、売払いの実績を勘案し、減額としております。

35ページを御覧ください。款17項1目1 寄附金は、予算額3,180万5,000円で、前年度比較1,580万5,000円の増となっています。ふるさと納税に関する業務の委託により、ふるさと納税による寄附金の増収を1,570万5,000円と見込み、計上しております。また、新たにまち・ひと・しごと創生寄附金10万円を計上しております。

36ページを御覧ください。款18繰入金、項1 基金繰入金、目1 財政調整基金繰入金は、予算額1億1,162万円、前年度比較1億2,019万8,000円の減となっています。財源不足額を補うために計上をしております。

目2 ふるさと創生事業基金繰入金は、予算額1,500万円で、ふるさと創生事業の財源として前年度同額により計上をしております。

目3 協働のまちづくり基金繰入金は、予算額200万円で、協働活動経費の財源として前年度同額により計上をしております。

目4 村有林野基金繰入金は、予算額370万2,000円、前年度比較76万2,000円の増となっています。村有林整備事業の財源として計上しております。

目5 農業振興基金繰入金は、予算額2,406万2,000円、前年度比較1,142万2,000円の増となっています。新規就農者支援事業、農業振興補助金、道営事業負担金、畜産クラスター事業の財源として計上しております。

目6 福祉基金繰入金は、予算額1万3,000円、前年度比較5万円の減となっています。高齢者在宅福祉サービス事業の財源として計上しております。

目7 こども夢基金繰入金は、予算額50万円で、こども夢基金事業の財源として前年度同額により計上しております。

目8 公共施設等整備基金繰入金は、予算額2,400万円、前年度比較9,651万円の減となっています。歯科診療所改修事業、ふるさと館改修事業、村営住宅等改修事業、学校施設改修事業の財源として計上しております。前年度村営住宅等整備事業の財源として8,007万5,000円を計上したことから減額となっております。

目9 寄附金管理基金繰入金は、予算額2,113万7,000円、前年度比較788万7,000円の増となっています。前年度にいただいた寄附金を全額繰り入れ、寄附された方が指定する事業の財源とするものでございます。

37ページを御覧ください。款19項1目1 繰越金は、予算額5,000万円で、前年度同額によ

り計上しております。

38ページを御覧ください。款20諸収入、項1延滞金・加算金及び過料、目1延滞金は、前年度と同額の2万円で、村税延滞金を計上しています。

項2目1預金利子は、予算額5万円、前年度比較5万円の減となっています。

項3貸付金元利収入、目1中小企業近代化資金預託金元利収入は、予算額5,000万円、前年度比較5,000円の減となっています。

目2ふるさと融資貸付金元金収入は、前年度と同額の1,620万円を計上しています。

項4受託事業収入、目1民生費受託事業収入は、前年度と同額の4,000円で、介護保険事務委託金を計上しています。

目2衛生費受託事業収入は、予算額235万5,000円、前年度比較2万7,000円の減となっています。後期高齢者医療広域連合受託事業収入を計上しています。

項5雑入、目1滞納処分費は、前年度と同額の1,000円で、滞納処分収入を計上しております。

目2弁償金は、前年度と同額の1,000円を計上しております。

39ページを御覧ください。目3違約金及び延納利息は、前年度と同額の1,000円を計上しています。

目4納付金は、予算額561万3,000円で、前年度比較517万8,000円の増となっています。派遣職員給与等納付金521万1,000円は皆増で、本年度から2年間市町村税滞納整理機構に職員1名を派遣するに当たり、村が当該職員に支給する給料、職員手当等相当額を十勝圏複合事務組合から納付を受けるものでございます。

目5雑入は、予算額1,552万6,000円で、前年度比較727万8,000円の増となっています。40ページを御覧ください。説明欄5行目、市町村振興宝くじ収益金に係る交付金の北海道市町村振興協会市町村交付金は、前年度比較117万6,000円の増となっております。41ページを御覧ください。説明欄の最後の行、トレーニングセンター改修事業の財源として新たに独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金600万円を計上しております。

目6過年度収入は、前年度と同額の1,000円を計上しております。

42ページを御覧ください。款21項1村債、目1辺地対策事業債は、予算額3億2,490万円で、前年度と比較して皆増となっています。新たに策定いたしました各辺地に係る公共的施設の総合整備計画に基づき実施する橋梁改修事業、村道整備事業、どんぐり公園遊具更新事業の財源として本年度新たに計上をしております。

目2過疎対策事業債は、予算額1億5,550万円で、前年度比較9,790万円の減となっています。雪寒機械購入事業690万円は皆増です。道営事業（ハード）は1,320万円の増、道営事業（ソフト）は610万円の増、村道整備事業は6,910万円の減、更別農業高校生徒確保等支援事業、子ども医療費無料化事業は前年度と同額、学校給食費保護者負担軽減事業は10万円の減、商工業活性化事業、緊急通報システム利用支援事業は前年度と同額、43ページ

をお開きください。村史編さん事業は370万円の増、歯科診療所医療機器等整備事業は740万円の減により計上しております。なお、前年度計上いたしました橋梁改修事業4,890万円、どんぐり公園遊具更新事業230万円は、いずれも皆減となっております。

目3臨時財政対策債は、予算額1億3,473万2,000円で、前年度比較5,386万4,000円の増となっております。令和3年度地方財政対策によれば、市町村の臨時財政対策債発行可能総額は2兆2,376億円で、前年度比較8,190億円、57.7%増額されており、発行額は前年度を上回るものと想定しております。

なお、目1辺地対策事業債は、元利償還金の80%、目2過疎対策事業債は元利償還金の70%、目3臨時財政対策債は元利償還金の100%に相当する額が普通交付税の基準財政需要額に算入されることとなっております。

前年度GIGAスクール構想校内ネットワーク整備の財源として計上いたしました学校教育施設等整備事業債は、目を廃止し、1,330万円は皆減となっております。同じく北海道総合行政情報ネットワーク衛星無線回線更新整備事業、水槽付消防ポンプ自動車購入事業の財源として計上いたしました緊急防災・減災事業債につきましても目を廃止し、7,420万円は皆減となっております。

以上で補足説明を終わります。

○議 長 款16財産収入から款21村債までの説明が終わりました。

一括して質疑の発言を許します。

5番、太田さん。

○5番太田議員 34ページ、目1不動産売払収入の説明欄、宅地分譲地売払収入2,016万円と前年と比較して1,720万8,000円増額になっているのですが、今年度宅地分譲の売上げ二千幾らかに対する売上げ見込みの件数を補足説明いただきたいことと、あとそうなったときに宅地分譲、今年度の予約とか結構入っていて、半分ぐらい埋まったという話なのですが、また新たな分譲を考えるならその選定、そこから売出しまでといえば過去の例を見ても2年から3年の時間はかかると思うのですが、今後どのような推移でいくようなことを想定して、どのような今対策を練っている状況なのか、そこら辺も補足説明していただければと思います。

○議 長 佐藤企画政策課長。

○企画政策課長 ただいまのご質問の件でございますけれども、2,016万5,000円の内訳ということでございます。コム二団地の売払い収入ということで、こちらにつきましては当初予算の計上の時点で今年度追加で分譲しました2区画、そちらがまだ販売完了していなかったというところがありまして、そのうちの1区画分がこの中に含まれております。また、新コム二団地の分譲につきましては、住宅地24区画のうち角地と一般の部分、それ以外の区画で単価が違いまして、角地については9区画ということで、9区画分の3区画、一般の角地以外の部分については5区画ということで、24区画中8区画分を計上したところでございます。それを合算して2,016万5,000円というふうに積算したところでございま

した。一方でその後に分譲予約を開始させていただいておまして、それにつきましては、太田議員おっしゃるとおり、12区画予約済みということになってございます。4月以降に販売契約というふうになってまいりますので、その後また随時販売を継続していくという中では、この予算からは多少上積みも見込まれるところでございます。

そういった中なのですけれども、その後の区画、残り区画が減るといような、それに関しては非常に嬉しいことなのですけれども、次の分譲地というようなことになってございます。そちらについては、既に検討を始めておまして、ここでは具体的な場所等については控えさせていただきますけれども、議員ご発言のとおり、準備等期間を要することになりますので、早急にそちらについては進めていきたいというふうに考えてございます。

以上です。

○議長 長 6番、安村さん。

○6番安村議員 申し訳ありません。確認させてください。40ページ、雑入の中の説明欄の下段から6番目、試験農産物の副産物の収入とございますけれども、試験圃の関係の運営も含めてちょっと見えていない部分があって、なおかつ収入で副産物の収入という形で提案ございますけれども、その点の説明をお願いいたします。

○議長 長 本内産業課長。

○産業課長 ただいまご質問にありました試験作物副産物収入でございますけれども、過去にシャクヤクの試験栽培を行っていたときの収入と、その以降すももの里のスモモの販売収入を同科目で収入してございます。現在シャクヤクは終了しておまして、計上している金額につきましては全てスモモの販売代金というようになってございまして、試験圃の収益を計上しているものではございません。試験圃において行われる試験作物に関しては、農業経営生産対策推進会議のほうで貸付け等を行った場合は、その副産物収入として事業費を上回る場合には納入してもらうような仕組みを過去には行っていますが、現状関係機関の試験栽培しかされていないというところで、そちらからの副産物収入というものは生じていないような状況でございます。

以上です。

○議長 長 6番、安村さん。

○6番安村議員 ちょっと理解できない部分あるのですけれども、試験作物の副産物という形ですので、どの項目、どの事業に該当させるかというのは任意的なところはあると思うのですけれども、たまたまスモモを販売するという形、今現在の更別のやり方といいますのは、試験作物に関する部分の優先収穫、並びに余った場合スモモの果実については取りあえずは試験に対する優先順位で、更別農業高等学校だとかそういうことで優先的に果実は提供している。余剰分については、放送をかけて、村内の必要者に対して基本的には無料配付しているというような多分状況だと思うのです。その中で、すももの里のどうか、それが果実を売る収入かどうか私もちょっと理解できない部分があるのですけれど

も、その部分というのをもう少し、何か内容的な部分がちょっと見えない部分があるので、その部分の附帯説明だけもう一度お願いします。

○議 長 本内産業課長。

○産業課長 スモモの取扱いに関してですけれども、御存じのとおり、どんぐり公園内にあるすももの里から取れる果実ということで、予算の科目上試験副産物というようなところで収入しているものですから、ちょっと誤解があるのかもしれませんが、スモモの取扱いについては、議員おっしゃったとおり、農業高校の収穫分、またそれ以外のスモモを使った特産品開発に取り組んでいただける方への原料供給をしております。こちらについては、実をそのまま、加工用の果実ということでございますので、こちら今は指定管理のほうで収穫していただいておりますが、そこで収穫し、役場のほう、産業課のほうも協力しながら種取りの加工をします。種取りの加工をして、1キロ詰めのパックにして、村のほうで保管をしております。これの販売代金ということで、その作業料等の原価を収入している、原価で販売をして収入しているというようなことでございます。ですので、農業高校さんですとか直接収穫をして特産品に使う場合は村からの販売はしていないのですけれども、村で加工したものを買い取りたいという事業者の方も、個人事業主の方が作られているものに関してはそちらを提供してほしいという依頼もあるものですから、そういう場合にこの村でストックしているスモモの実を提供していると。その分の収入ということでございます。

○議 長 ほかにありませんか。

(なしの声あり)

○議 長 これで款16財産収入から款21村債までを終わります。

これで一般会計歳入予算を終わります。

この際、午前11時まで休憩いたします。

午前10時48分 休憩

午前11時00分 再開

○議 長 休憩前に引き続き会議を開きます。

第2条、地方債に入ります。

補足説明を求めます。

末田総務課長。

○総務課長 地方債について補足説明を申し上げます。

第2表を御覧ください。5ページでございます。起債の目的、辺地対策事業債は、限度額3億2,490万円、起債の方法は普通貸借又は証書借入、利率は年3.0%以内、償還の方法は政府資金、地方公共団体金融機構及び金融機関等の融資条件による。ただし、村財政の都合により、据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還又は低利に借換すること

ができることとするものでございます。過疎対策事業債は、限度額1億5,550万円、起債の方法、利率、償還の方法は辺地対策事業債と同じでございます。臨時財政対策債は、限度額1億3,473万2,000円、利率は年3.0%以内（ただし金利見直し方式で借入れる政府資金、地方公共団体金融機構及び金融機関等について、利率の見直しを行った後においては当該見直し後の利率）とするものでございます。起債の方法、償還の方法は、辺地対策事業債と同じでございます。限度額の合計は6億1,513万2,000円となっております。

以上でございます。

○議 長 第2条、地方債の説明が終わりました。

質疑の発言を許します。

(なしの声あり)

○議 長 これで第2条、地方債を終わります。

一般会計予算について質疑を進めてまいりましたが、質疑の発言漏れがあれば承りたいと思います。

発言に当たっては、ページ、項目、事業等を明らかにしていただきます。

質疑の発言を許します。

7番、織田さん。

○7番織田議員 ページ数62ページ、去年までなのですけれども、地方創生関連事業費でさらべつブランディング事業というのがありました。今回の予算を見ますと、観光費の中にそのブランディングに関して行う事業というか、それが恐らく入っていると思うのですけれども、それがどれか説明をお願いいたします。

○議 長 佐藤企画政策課長。

○企画政策課長 ご質問のブランディング事業の関係については、令和2年度末で計画を最終的に整理するというようにしてございます。その中で、年度ごとにどういった事業をしていくかというようなことで、現在最終的には調整中でございます。令和3年度におきましては、予算を伴う事業というふうには予定してございませんので、令和3年度の予算には計上していないところでございます。

以上です。

○議 長 7番、織田さん。

○7番織田議員 この事業は、平成30年から始まっているのです。3年間で2,730万円の事業費をつぎ込んでいます。その中において3年度は一応のせていないということなのですけれども、それであれば次の第6期総合計画あります。令和3年から令和5年、この辺にしっかりとっていると思うのですけれども、そこはどれでしょうか。

○議 長 佐藤企画政策課長。

○企画政策課長 令和5年までの3か年の実施計画を先日提出させていただいておりますけれども、その中にも現時点では登載はまださせていただいていないというようなところでございます。具体的な金額の調整であったり、ソフト事業、ハード事業のバランス等最

最終的に詰めていかなければならないというところで、現時点では登載していないところでございます。

以上です。

○議 長 7番、織田さん。

○7番織田議員 2,700万の経費使って令和5年までのせれないというのは、私にすればこの事業何のためにやったのかという気がするのです。その辺どう考えていますか。

○議 長 答弁調整のため暫時休憩いたします。

午前11時05分 休憩

午前11時10分 再開

○議 長 休憩前に引き続き会議を開きます。

佐藤企画政策課長。

○企画政策課長 大変失礼しました。

議員ご指摘のとおり、3か年かけての計画というようなところで、これまで本村の既存の観光施設など集客を図れる施設の魅力を高めるところ、また住民の皆さんではなかなか気づかない村の魅力というのを発掘して、観光客の誘致、あるいは人材育成、交流人口の増加に結びつけるというようなことで計画を検討してきたところでございます。

現在その具体的ないつ頃何をやってというような部分、それからそれに係る事業費につきましては、最終的な調整というようなところでございまして、3月30日の日に最後の協議会を開催する予定でございます。その中で、これまで一般質問等の中でもご説明させていただいておりました村の中のいろいろな場所を活用したアウトドアでの計画であったり、また市街地の中でのまちのえき構想、それも規模的にどのぐらいのものになるかというようなところもございまして、そういったものの最終的な委託業者からの提案等を踏まえて、最終的な実施計画というようなところで今想定しているものでございます。それに基づいて、その後総合計画への登載を考えていくというようなところで今調整しているところでございます。

以上です。

○議 長 7番、織田さん。

○7番織田議員 ちょっと疑うようですけれども、どのぐらい進んでいるのですか。報告受けてから始まるのですか。既にもうある程度、過去3年ありましたから、毎年報告受けていると思うのです。それに対して今全然動いていないということが、構想は分かるのです、最初の構想は。でも、それに対して全然実際予算化もされていないし、その事業を進めるという話も、こういう事業がありますという話も聞いていないのです。今答弁いただいたらこれからの話になってしまうので、それは信用するしかないのですけれども、ある程度期限切っていただきたい。だったら、だったらやられたのでは、せっかく2,700万何が

しかけた意味がなくなるので、例えば5年以内に、それは住民がみんな賛成するかどうかは別ですけれども、せめてそのような案まできちんと出していただかないと、本当これ何やってしまったかということになるので、その辺はなるべく速やかにそういう計画、事業案が出るように検討していただきたいと思います。

○議 長 西山村長。

○村 長 織田議員さん何回も一般質問とかいろんな形で質問しているけれども、ごもつともです。そのとおりであります。案をつくるためにこの膨大な金額を交付税等の措置によってしたわけではなくて、人の移動とかそういうような動きをしっかりと議論はされていますし、住民の方も入ってやっています。いろんな事業名とか出てきていますし、今回30日の会議もありますけれども、私の中ではもうまちのえき構想というのが指示をしまして、その中でそこを中心にして人の流れとか、あるいは物産館というお話もありましたけれども、そういう施設をどのようなところに配置をして、どういうふうにするのかということについて、おっしゃるとおり、早急に検討をして、皆さんにお示しをしたいと思います。それがブランディングの報告ではなくて、これはどういうまちづくりを進めていくかという具体的な計画づくりにつながらないと、これは本当に何のためのブランディングだったのかということが分かりませんので、早急にそれについて対応してお示しをしたいというふうに考えております。

以上であります。

○議 長 5番、太田さん。

○5番太田議員 1つだけ確認させていただきたいのですけれども、本来であれば3年間の間にどこまでやるという実施計画というものを計画をいただいて、令和3年度に生かしていくというのがあるべき姿だったのではないかなと思うのですけれども、3月30日に協議会を行ったときにはそのブランディングを任せた会社からある程度の実施する計画まではいただけるという考えでよろしいのでしょうか。その辺の確認をさせていただきたいと思います。

○議 長 佐藤企画政策課長。

○企画政策課長 おっしゃるとおりでございます。実施計画ということで、10か年の計画ということで予定してございます。

以上です。

○議 長 関連の部分はよろしいですか。

(なしの声あり)

○議 長 そのほか。

5番、太田さん。

○5番太田議員 64ページの款2総務費の中の説明欄、64ページの一番下、23番、生涯活躍のまち推進事業ということなのですけれども、業務委託料ということで、交付金などについて有効にCCRC、生涯活躍のまちということで進めていて、本来であれば今はもう

実施計画、基本計画終わって実施計画に進んでいて、そういった中でもなかなか煮詰まらないところがあって、ジャイロスタートという形になったところまでは理解できるのですが、その交付金のいただく期間が終わって、村の単費で今回942万7,000円出費する、財源使いたいということなのですからけれども、今年度はどこまでCCRCの事業を進めていくのか。もしくは、今年でもう完結してしまうのか、そういった方向性を聞かせていただければと思います。

○議 長 高田企画政策課参事。

○企画政策課参事 ご指摘のCCRC構想の関係でございますけれども、ご指摘のとおり、本来はジャイロスタートでスタートして、各団体を中心に進めることとなっておりますけれども、やっぱり連携といった部分で不慣れな点ですとか、コロナ禍でマンパワーが不足しているというところもありまして、コーディネーターの支援が引き続き必要であるということで今回要求させていただいたところでございます。今月開催されたCCRCの協議会においてもコーディネーターの活動についての評価は高いものをいただいております。また現在ロビーで行われておりますカフェ等のイベントに参加した方々からは、このコーディネーターと築いた信頼関係の下にごちゃまぜづくりを期待しているという実態がございます。今後につきましては、まずはロビーの活動を中心としたコーディネーターのごちゃまぜづくりをさらに関係機関との連携を発展させて進めていくということと、カフェの常設に向けた具体的な設計を進めていきたいというふうに考えているところでございます。

以上です。

○議 長 5番、太田さん。

○5番太田議員 今話を聞くと、本来持っていたCCRCの目的が今年度ではまだまだ達成されないのではないかなということ懸念しております。コーディネーターの評価が高いのであれば、村が持っていた課題を解決する。本来であれば令和2年度までで私は完結するものだと思いますし、それをもう一年使って、一般財源使うわけですから、そういったことに対しての最終的な令和3年度の到達する目標というものが随分ハードルが低いのではないかなと思うのですけれども、今後では逆に今年そこまでの目標値ということであれば、また来年度も再来年度もということになりかねないと思うのですけれども、そういったスケジュール感というか、終わりはどこということを考えてコーディネーターを配置するのでしょうか。

○議 長 高田企画政策課参事。

○企画政策課参事 コーディネーターに関しましては、当初の予定からR3年度、R4年度までの3か年、何とか実際の現場での支援はお願いしたいということで、ただ契約に関してはそれぞれの年ごとに更新をするというようなことで当初から進めております。CCRCについては、基本的にはゴールといいますか、何か建物を建てるとかそういったところがゴールではなく、その活動がずっと継続していくことを目指して、徐々に拡大

していくというところがございますので、引き続き今の活動をよりよいものにしていくような形で努力していきたいというふうに思っております。

○議 長 5番、太田さん。

○5番太田議員 とはいいまして、令和4年度までそういった計画の中であるといえますけれども、今現在答弁いただいた内容ではカフェとか、何か更別にもう現在あるような事業を、温泉の老人福祉施設ですか、あそこでやるような形にも見えますし、CCRC最初打ち出したときの当初の目的、基本計画にも最初あったところの目的というものとは変わらないと思いますし、それがジャイロスタートということになったのは、いろんな形でジャイロスタートしていったって、その形をつくっていくということは何も変わっていないというふうに答弁でも、前にですけれども、おっしゃっていたので、やはりその辺ここまでやったからいいとかそういうことではなくて、当初あったその目的というものはぶれずに村側は課題として持って行ってほしいですし、大切な財源、コーディネーターが本当にそこで活躍するためにはどこまで話ししていけばいいのか、本当にこれが令和3年度のお金だけでそこまでの話でその次にではつながるのかということ、僕はちょっと疑問に思うところもあるので、やはり先を見越して、村の目的、課題に向かって準備して行ってほしいというか、話も十分進めて行ってほしいと思っております。

○議 長 高田企画政策課参事。

○企画政策課参事 今太田議員から指摘があった当初の目的という部分を忘れないように、コーディネーター等と今後も実際の活動を進めていきたいと思っております。

また、グループホーム等の建設に関しても3月上旬に開催した協議会の中で前向きに検討するようという意見も多数いただいております、そういったところもどんな方法があるかというような検討を引き続き進めていきたいと思っております。ありがとうございます。

○議 長 西山村長。

○村 長 太田議員さんおっしゃるところのCCRCの目標、当初掲げた部分については、運営主体が非常な困難を生じて、そういうふうな形にはなっておりますけれども、今参事が言いましたように協議会の中では、私の公約でもありますし、グループホームというのですか、それは障害者だけではなくていろんな形でというようなことで今いろんな意見もあって、座長の山田ドクターとも話もしていますけれども、協議会の中でも議論になっていきますけれども、何とかそういう形でそういうグループホームを実現したい。既存のものを使うのか、あるいは新たな土地で、その先行き、運営も含めて、民設民営なのか、公設民営なのか、あるいは運営自体にある程度バックアップをしながらやっていくのかということは今協議中であります。

あと、その部分を含めて、それだけでは私は終わらないと思うので、雇用をきちんと、CCRCの中でもありましたけれども、今回協議会の中ではB型のところの通所されている方が帯広市に就労できたということで、これは画期的な成果であったという。最終目的

はそこにあるわけですから、居住と、そして雇用と、生活できるだけの賃金と、それと生活がある程度支援をしながら、住むところもきちんと。そこができて初めてCCRC構想の遅れている部分というのですか、それが完結するということになっていますので、その部分具体的に今検討しておりますけれども、私としては建設も含めて、そして雇用も何とか、遠藤さんの一般質問にもありましたけれども、今ちまたではスターボックスが聴覚障害者を雇用して、そういうような店舗を展開しているとか、いろんな形であります。私もいろんな企業のトップの方とも話しておりますけれども、何とかそういう雇用も含めて、地元雇用も含めてそうですけれども、そういうものをきちんと完遂させると。それが当初の目的でありますので、それまでに今コーディネーターが頑張っ、ごちゃまぜのというような形でいろんなカフェを切り口としてやっておりますけれども、最終的にはそこにしっかりと結果が出るように結びつけていきたいというふうに考えております。

以上であります。

○議 長 関連はよろしいですか。

(なしの声あり)

○議 長 ほかに全体を通してありませんか。

(なしの声あり)

○議 長 以上で一般会計予算の質疑を終了いたします。

次に、令和3年度更別村国民健康保険特別会計予算の質疑を行います。

事業勘定の歳出について補足説明を求めます。

新関保健福祉課長。

○保健福祉課長 それでは、国民健康保険特別会計事業勘定予算の補足説明をさせていただきます。

まず、歳出から説明いたします。213ページ御覧ください。款1総務費、項1総務管理費、目1一般管理費は、予算額565万4,000円、前年度比較56万2,000円の増です。主なものは、説明欄(1)、総務一般事務経費、節14工事請負費は、特定健診等データ管理システムで使用するインターネット回線をADSL回線から光回線へ変更する経費となります。

目2連合会負担金は、予算額38万1,000円で前年度と同額となります。

214ページ御覧ください。項2徴税費、目1賦課徴収費、予算額20万3,000円、前年度比較3万1,000円の減です。主なものは、説明欄(1)、賦課徴収事務経費で、節18負担金補助及び交付金、十勝市町村税滞納整理機構負担金で滞納預け入れ金の減額で3万1,000円の減となっております。

項3運営協議会費、目1運営協議会費、こちらは予算額38万4,000円、前年度比較1万6,000円の減です。

215ページ御覧ください。款2保険給付費、項1療養諸費、目1療養給付費は、予算額2億5,200万円、前年度比較898万4,000円の減で、過去3年間の医療費の給付実績などから北海道から通知された額で計上しております。

目2療養費、予算額168万円で、前年度比較11万3,000円の減です。

目3審査支払手数料は、予算額93万7,000円で、昨年度比較3万4,000円の減です。

項2高額療養費、目1高額療養費は、予算額2,640万円、前年度比較143万6,000円の減です。

216ページ御覧ください。目2高額介護合算療養費は、予算額10万円で前年度同額です。

項3移送費、目1移送費は、予算額5万円で前年度同額となります。

項4出産育児諸費、目1出産育児一時金は、予算額504万円で、前年度比較126万円の減となっております。12名分を見込んでおります。

目2支払手数料、予算額3,000円で、前年度比較1,000円の減です。

項5葬祭諸費、目1葬祭費は、予算額30万円、前年度同額で10名分を計上しております。

217ページを御覧ください。款3国民健康保険事業費納付金は、北海道が決定した納付金を納めるものになっておりまして、項1医療給付費、目1医療給付費は予算額1億5,399万7,000円、前年度比較908万円の増となります。

項2後期高齢者支援金等、目1後期高齢者支援金等は、予算額4,744万1,000円で、前年度比較57万7,000円の増となります。

項3介護納付金、目1介護納付金は、予算額1,644万1,000円で、前年度比較160万3,000円の減となっております。こちらは、40歳から65歳までの介護2号被保険者の納付金として納付するものとなっております。

218ページです。款4項1目1共同事業拠出金は、予算額1,000円で、過年度精算分が発生した場合の科目存置として計上しております。

219ページです。款5項1目1財政安定化基金拠出金は、予算額1,000円で、前年度比較同額となっております。

続きまして、220ページ御覧ください。款6保健事業費、項1目1特定健康診査等事業費は、予算額551万7,000円で、前年度比較90万1,000円の増額です。説明欄(1)、特定健診・特定保健指導事業、節12委託料の特定健康診査委託料において健診委託料の増額によるものになります。

項2保健事業費、目1保健衛生普及費は、予算額52万4,000円、前年度比較41万8,000円の減です。主なものは、説明欄(1)、保健衛生普及事業、前年度比較42万4,000円の減額になります。221ページになりますが、節18負担金補助及び交付金で前年度に北海道自治体情報システム協議会負担金で計上しました健康かるてシステム導入経費の35万円、こちらの減が主な要因となっております。

目2の疾病予防費は、予算額60万1,000円で、前年度比較8万9,000円の増額です。前期高齢者のインフルエンザ、それから肺炎球菌予防接種料の負担金となっております。

次に、222ページを御覧ください。款7基金積立金、項1基金積立金、目1基金積立金は、予算額3,000円で、前年度比較9,000円の減となります。

223ページです。款8諸支出金、項1償還金及び還付加算金、目1一般被保険者保険税還

付金は、予算額25万円で前年度同額となります。

目2退職被保険者等保険税還付金は、予算額5万円で前年度と同額となります。

目3一般被保険者還付加算金は、予算額1万円で前年度同額となります。

目4退職被保険者等還付加算金は、予算額5,000円で前年度同額です。

項2繰出金、目1直営診療施設勘定繰出金で、予算額3,094万5,000円で、前年度比較210万円の減額となります。

224ページです。項3目1過年度過誤納還付金は、予算額1,000円で前年度同額を計上しております。

最後、225ページになりますが、款9項1目1の予備費、こちらは予算額859万6,000円で、前年度比較35万5,000円の減額となっております。

以上で補足説明とさせていただきます。

○議 長 事業勘定歳出の説明が終わりました。

質疑の発言を許します。ありませんか。

(なしの声あり)

○議 長 これで事業勘定の歳出を終わります。

事業勘定の歳入について補足説明を求めます。

新関保健福祉課長。

○保健福祉課長 それでは、引き続きまして歳入についての補足説明となります。

206ページ御覧ください。款1項1国民健康保険税、目1一般被保険者国民健康保険税は、予算額1億7,328万1,000円、前年度比較1,840万8,000円の減となります。所得推計等により減額計上となっております。

目2退職被保険者等国民健康保険税は、予算額3,000円で前年度同額で、滞納繰越分のみを科目存置として計上しております。

207ページになります。款2項1目1一部負担金は、予算額1,000円で前年度同額となります。

208ページになります。款3道支出金、項1道負担金、目1保険給付費等交付金は、予算額3億3,965万4,000円で、前年度比較197万8,000円の減となります。節1普通交付金は、歳出の款2保険給付費分が交付されております。節2の特別交付金は、前年度比較985万円の増額で、特別調整交付金では180万円の減額、2号交付金では987万4,000円の増額が主なものとなっております。

項2目1財政安定化基金交付金は、前年度と同額となっております。

209ページになります。款4財産収入、項1財産運用収入、目1利子及び配当金は、予算額3,000円で、前年度比較9,000円の減となります。

210ページになりますが、款5繰入金、項1他会計繰入金、目1一般会計繰入金は、予算額2,837万9,000円、前年度比較178万円の増となります。節1の保険基盤安定繰入金は、前年度比較78万7,000円の増で、いずれも対象世帯、人数の増によるものです。節2の出産育

児一時金等繰入金は、出産数を12件分として推計しておりまして、その3分の2相当を繰り入れるということで、前年度比較84万円の減となります。節4その他一般会計繰入金は、前年度比較183万3,000円の増となります。

項2基金繰入金、目1基金繰入金は、予算額1,538万3,000円で、こちらは皆増となります。

211ページ御覧ください。款6項1目1繰越金は、予算額10万円で前年度同額となっております。

212ページになります。款7諸収入、項1延滞金・加算金及び過料、目1延滞金は、予算額6,000円で前年度と同額となります。

目2の加算金は、予算額2,000円で前年度同額です。

項2の雑入、目1雑入は、予算額70万1,000円で、前年度比較2万9,000円の減額となります。

目2保険給付費等交付金は、予算額1,000円で皆増となります。

前年度計上の療養給付費等負担金は、今年度該当がありませんので、皆減となります。

以上で補足説明を終わらせていただきます。

○議 長 事業勘定歳入の説明が終わりました。

質疑の発言を許します。ありませんか。

(なしの声あり)

○議 長 これで事業勘定歳入の質疑を終わります。

診療施設勘定の歳出について補足説明を求めます。

酒井診療所事務長。

○診療所事務長 それでは、診療施設勘定の歳入歳出予算についての補足説明を申し上げます。

歳出から説明申し上げます。予算書の238ページをお開きください。款1総務費、項1総務管理費、目1一般管理費は、予算額2億4,826万2,000円で、前年度比較255万2,000円の減です。説明欄(1)、診療施設維持管理経費は、診療所施設の維持に係る消耗品費、重油などの燃料費、施設機器の保守・管理・点検委託料、施設管理用備品購入費などで予算額1,649万8,000円です。主な増減としましては、節10需用費、燃料費において重油単価の値下がりにより67万3,000円の減、国保診療所修繕費において外来入り口の自動ドアの修理を行うことなどにより75万1,000円の増、239ページをお開きください。施設管理用備品購入費において病棟食洗機を更新することにより77万円の増としております。説明欄(2)、村有建物維持管理経費は、医師住宅に係る修繕費、保険料などで、予算額8万1,000円です。節10需用費、村有建物修繕費で、令和2年度は医師住宅、診療所側のほうになりますが、軒天の天板が腐食しており、修繕を行うことにより11万3,000円の減としています。説明欄(3)、総務管理経費は、職員11名分の人件費であり、9,168万円です。詳細につきましては、248ページから253ページの給与費明細書のお目通しをお願いいたします。240ページを

お開きください。説明欄（４）、総務一般事務経費は、パートタイム会計年度任用職員の報酬、旅費、事務用消耗品費、医療業務委託料、医療業務用システム使用料などで予算額1億2,757万3,000円です。主な増減としましては、節10需用費、消耗品費で22万3,000円、節11役務費、手数料、241ページをお願いいたします。クリーニング料において近年の実績を鑑みて17万1,000円の減としています。節12委託料、医療業務委託料は、医療法人北海道家庭医療学センターから医師4名、作業療法士1名の派遣を受ける経費と医師確保、医師及び研修医育成協力費を含むもので475万4,000円の減です。

242ページをお開きください。目2車両管理費は、予算額37万4,000円で、前年度比較15万7,000円の増です。公用車の維持管理経費で、令和3年度は公用車の車検整備の年となっていることによるものです。

243ページをお開きください。款2医業費、項1医業費、目1医療用消耗器材費は、予算額755万8,000円で、前年度比較190万8,000円の増です。医療全般に係る各種器具、衛生材料や入院患者用酸素等に係る経費で、新型コロナウイルス感染症の影響により医療資材が全般的に高騰していることからの増額としています。

目2医薬品衛生材料費は、予算額1,020万円で、前年度比較60万円の増です。医療用薬品、予防接種用ワクチンの購入費となっております。

目3医療管理費は、予算額1,212万8,000円で、前年度比較157万3,000円の増です。説明欄（１）、医療管理事業経費は、医療用備品の修繕費、保守点検委託料、検査委託料などで予算額852万4,000円です。主な増減としましては、節12委託料、X線装置保守点検委託料において令和元年度に設備更新し、1年間の保証期間が終了したことにより56万8,000円の増、244ページを御覧ください。検査・診断等委託料において新型コロナウイルス感染症の検査費用を追加したことにより16万6,000円の増、医療用廃棄物処理業務委託料において新型コロナウイルス感染症感染防止対策から医療廃棄物の量が増えていることから16万1,000円の増としています。説明欄（２）、医療機器借上経費は、在宅酸素供給装置や睡眠時無呼吸症候群の治療器を必要とする方に対応するための経費で予算額360万4,000円です。機器の使用数が増加しており、53万9,000円の増としています。

目4寝具費は、予算額55万1,000円で、前年度比較1万7,000円の減です。入院患者の寝具、病衣の借りに係る経費です。

目5医療用機械器具費は、予算額1,176万9,000円で、前年度比較145万6,000円の減です。医療用備品の購入費で、内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒器、携帯型心電計の購入を予定しております。

項2給食費、目1給食費は、予算額279万3,000円で、前年度比較9,000円の増です。入院患者の給食提供に係る消耗品費、業務委託料の経費です。

246ページをお開きください。款3公債費、項1公債費、目1元金は、予算額2,535万8,000円で、前年度比較351万7,000円の減です。説明欄（１）、長期債償還元金は、平成22年度以降に購入した医療機器備品並びにソフト分として医療業務委託料に係る起債元金の返済と

なっています。減額の主な要因は、平成22年度分起債の償還が終了したことによるものとなっています。

目2利子は、予算額16万7,000円で、前年度比較12万8,000円の減です。長期債償還利子です。なお、詳細につきましては、254ページに地方債の前々年度末における現在高並びに前年度末及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書がございますので、お目通しをお願いいたします。

247ページをお開きください。款4予備費、項1予備費、目1予備費につきましては、予算額10万円で前年度と同額でございます。

以上で歳出の説明を終わらせていただきます。

○議 長 診療施設勘定歳出の説明が終わりました。

質疑の発言を許します。ありませんか。

(なしの声あり)

○議 長 これで診療施設勘定の歳出を終わります。

診療施設勘定の歳入について補足説明を求めます。

酒井診療所事務長。

○診療所事務長 続いて歳入の補足説明に移らせていただきます。

229ページをお開きください。款1診療収入、項1入院収入は、予算額3,090万4,000円で、前年度比較27万7,000円の減です。近年の実績を参考に計上しています。

次に、項2外来収入は、予算額1億2,460万1,000円で、前年度比較666万1,000円の増です。患者数、受診日数、1日当たりの医療費、それぞれ近年の実績を参考に計上しています。

230ページをお開きください。項3その他の診療収入、目1諸検査等収入は、予算額1,960万7,000円で、前年度比較1万2,000円の増です。内訳は、説明欄、各種診断料、各種予防接種診断料、住民検診料となっています。

231ページを御覧ください。款2使用料及び手数料、項1使用料、目1使用料は、予算額29万7,000円で、前年度比較3万2,000円の増です。内訳は、説明欄、入院患者の電気器具使用料、往診や訪問診療に係る自動車使用料、診療所内の自動販売機の設置に係る建物使用料でございます。

項2手数料、目1手数料は、予算額5万8,000円で、前年度比較6,000円の増です。説明欄、医療事務取扱手数料は、労災給付請求書取扱い手数料です。

目2文書料は、予算額105万3,000円で、前年度比較5万5,000円の増です。説明欄、各種診断書料は、介護保険の認定に係る主治医意見書料等を計上しております。

232ページをお開きください。款3国庫支出金、項1国庫補助金、目1施設整備費補助金は、予算額561万円で、前年度比較51万2,000円の増です。電子内視鏡システム、内視鏡洗浄機、携帯型心電計の購入費用に係る国庫補助分として計上しています。

233ページをお開きください。款4財産収入、項1財産運用収入、目1財産貸付収入は、

前年度と同額の38万9,000円です。医師住宅2棟の貸付け収入です。

234ページをお開きください。款5繰入金、項1他会計繰入金、目1一般会計繰入金は、1億76万5,000円で、前年度比較1,109万9,000円の減です。説明欄、公債費分は、歳出予算と同額の2,552万5,000円です。一般病床分、救急病床分、その他運営補てん分は、診療所会計の収支の均衡を保つよう調整しております。

項2事業勘定繰入金、目1事業勘定繰入金は、3,094万5,000円で、前年度比較21万円の減です。診療所に対する運営費補助として国から交付される特別調整交付金の繰入金です。近年の入院日数の状況を踏まえ計上しています。

235ページをお開きください。款6繰越金、項1繰越金、目1繰越金は、前年度と同額の10万円を見込んでおります。

236ページをお開きください。款7諸収入、項1雑入、目1雑入は、予算額93万1,000円で、前年度比較11万5,000円の減です。主には自費衛生材料等収入でございます。

款8村債、項1村債、目1過疎対策事業債につきましては、予算額400万円で、前年度比較100万円の増です。電子内視鏡の購入を予定しており、国庫補助金を充当した残額の財源として400万円を計上しています。

以上、診療施設勘定歳入の補足説明とさせていただきます。

○議 長 診療施設勘定の歳入について説明が終わりました。

質疑の発言を許します。

2番、上田さん。

○2番上田議員 ページ数は別なのですが、今年の4月から中札内との関係、要するに指定管理者で北海道家庭医療学センターが向こうで行うということ、そういう計画になったはずですか。それで、若干質問したいと思うのですが、更別にとってメリットというのですか、中札内は完全に4月1日からはそういう形になるということになりました。それで、例えばあそこは入院患者を置かないというようなことも聞いております。となると、更別に入院患者が増えていくのかな、その辺どういうような取扱いというのか、どういうような可能性があるのかなと。それから、例えば外来収入、それから予防接種だとかいろいろ体制的というのか、その連携をしたことによって更別がどのように変わっていくのか。今の段階なら多分予測になると思うのですが、その辺どういうふうに捉まえているのか、考え方があれば教えていただきたいと思っております。

○議 長 酒井診療所事務長。

○診療所事務長 今上田議員さんがお話ししたとおり、4月から中札内村の診療所の運営は、北海道家庭医療学センターが担うこととなります。医師は、更別村国保診療所に4名、中札内の診療所に1名が配置されます。中札内診療所は、入院病床を廃止しまして、時間外診療は更別村国保診療所において医師5名で担うこととなります。この部分で医師1人の当直勤務の負担は、多少減るのかなというふうに考えております。

それと、入院病床を廃止しますので、その分更別のほうに移られてくる方を予定してお

りますが、もともとそんなに中札内診療所の入院患者は多いわけではないので、更別が急激に増えるということは今のところ想定しておりません。外来の患者につきましては、どうしても中札内の診療所がこれまでより診療時間が少し短くなるということですか、更別に通われていた中札内の患者さんがどの程度中札内のほうに行くのかというところをちよつとはかりかねる部分がありまして、その辺の収入、患者さんの増減についてははっきりと予測は立て難いところでございますが、更別と中札内で運営するのが北海道家庭医療学センターということになりますので、連携を密にしながら、協力して2村の診療体制を整えていくというように考えております。

○議 長 ほかにありませんか。

(なしの声あり)

○議 長 これで診療施設勘定の歳入を終わります。

以上で国民健康保険特別会計予算の質疑を終了いたします。

ここで昼食のため午後1時30分まで休憩いたします。

午前11時55分 休憩

午後 1時30分 再開

○議 長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、令和3年度更別村後期高齢者医療事業特別会計予算の質疑を行います。

歳入歳出一括して補足説明を求めます。

新関保健福祉課長。

○保健福祉課長 それでは、後期高齢者医療事業特別会計の補足説明をいたします。

最初に、歳出を説明いたします。263ページ御覧ください。款1総務費、項1総務管理費、目1一般管理費は、予算現額38万4,000円、前年比1万9,000円の減となります。

項2徴収費、目1賦課徴収費は、予算額22万6,000円、前年度比較9,000円の増となります。

264ページ御覧ください。目2滞納処分費は、前年度同額の1万4,000円を計上しております。

265ページを御覧ください。款2項1目1後期高齢者医療広域連合納付金、予算額5,989万2,000円、前年度比較192万1,000円の増額です。これは、保険料収入4,656万7,000円に保険基盤安定繰入金の1,105万4,000円及び共通事務費226万6,000円を加えて広域連合に納付するものとなっております。

266ページ御覧ください。款3諸支出金、項1償還金及び還付加算金、目1保険料還付金は、本年度予算額25万円、前年度同額となっております。

267ページ、款4予備費につきましては、予算額10万円で、前年度比較40万円の減額となっております。

続きまして、歳入になります。259ページ御覧ください。款1項1後期高齢者医療保険料、目1特別徴収保険料は、予算額1,583万3,000円、前年比較135万7,000円の増額で、医療保険料につきましては北海道後期高齢者医療広域連合より保険料の提示がされておりますので、これに基づきまして予算計上しております。

目2の普通徴収保険料は、予算額3,073万5,000円、前年度比較134万3,000円の増となっております。

260ページ、款2繰入金、項1他会計繰入金、目1一般会計繰入金は、予算額1,404万4,000円、前年度比較118万9,000円の減となります。節1保険基盤安定繰入金は、保険料の軽減分を補填するものとなっております。節2のその他一般会計繰入金は、本会計の事務費、それから後期高齢者医療広域連合の共通事務費分と予備費分を含めた299万円を計上しております。

次のページになりますが、款3項1目1繰越金は、前年度繰越金として予算額1,000円を前年同額として計上しております。

以上で補足説明を終わります。

○議長 後期高齢者医療事業特別会計予算の説明が終わりました。

質疑の発言を許します。

(なしの声あり)

○議長 これで後期高齢者医療事業特別会計予算の質疑を終了いたします。

次に、令和3年度更別村介護保険事業特別会計予算の質疑を行います。

事業勘定の歳入歳出及びサービス事業勘定の歳入歳出一括して補足説明を求めます。

新関保健福祉課長。

○保健福祉課長 それでは、介護保険事業特別会計の補足説明をいたします。

初めに、事業勘定の歳出から説明いたします。283ページ御覧ください。款1総務費、項1総務管理費、目1一般管理費は、予算額47万円で、前年度比較1万5,000円の減となります。

項2徴収費、目1賦課徴収費、予算額は13万3,000円で、前年度比較8,000円の減となります。

284ページ御覧ください。項3介護認定審査会費、目1認定調査費は、予算額82万6,000円で、前年度比較12万円の増となります。主なものは、節11の役務費であります主治医意見書取扱手数料の件数増によるものとなっております。

続きまして、目2認定審査会共同設置負担金は、予算額357万6,000円で、前年度比較52万6,000円の増額で、主に南十勝介護認定審査会事務局職員の人事異動等によります人件費の増が主な要因となっております。

285ページになりますが、款2保険給付費、項1目1介護サービス等諸費は、要介護1以上の方へのサービスの給付費となりますが、予算額2億6,115万6,000円で、前年度比較501万4,000円の減となります。給付実績、それから介護認定者数の状況などを勘案して予算計

上しております。主なものといたしましては、節18負担金補助及び交付金で法定居宅サービス給付費は前年度比較353万4,000円の減、法定施設サービス給付費は211万2,000円の減、福祉用具購入給付費で10万円の減、住宅改修給付費は18万円の減、地域密着型居宅介護サービス給付費は91万2,000円の増となっております。

続きまして、項2目1介護予防サービス等諸費は、要支援1及び要支援2の方へのサービス給付費となっております、予算額2,211万円、前年比較708万2,000円の増です。主なものは、節18負担金補助及び交付金で居宅介護予防サービス給付費は前年度比較487万2,000円の増、地域密着型居宅介護予防サービス給付費では前年度比較160万8,000円の増、介護予防住宅改修給付費は前年度比較18万円の増、介護予防サービス計画給付費は前年度比較42万2,000円の増となっております、主に利用者の増によるものとなっております。

続きまして、項3高額介護サービス費、次のページになりますが、286ページになります。目1高額介護サービス費は、予算額867万6,000円で、前年度比較35万6,000円の減となります。

項4目1高額医療合算介護サービス費は、予算額93万円で前年度同額となります。

項5特定入所者介護サービス等費、目1特定入所者介護サービス費は、予算額2,016万円、前年度同額となります。

287ページになりますが、款3地域支援事業費、項1介護予防・日常生活支援総合事業費、目1介護予防・生活支援サービス事業費は、予算額1,244万1,000円、前年度比較153万9,000円の増で、給付費の単価の増によるものが主な要因となっております。

目2一般介護予防事業費は、予算額466万4,000円で、前年度比較35万5,000円の減となります。主なものとしては、事業見直しによりまして事業の統廃合で前年度計上の節7、各種講座講師謝礼の47万円が皆減となっております。

項2包括的支援事業・任意事業費、目1総合相談事業費は、相談支援事業の事務費で、予算額7万6,000円で前年度同額となっております。

288ページ、目2包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費は、予算額2,654万1,000円で、前年度比較10万3,000円の増です。地域包括支援センター職員の人件費を計上しております、説明欄(1)、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業は、社会福祉協議会から派遣を受けております社会福祉士の人件費相当分を負担金として計上しております。説明欄(2)については、フルタイム会計年度任用職員給与費ということで、介護福祉士を配置するための職員給与、それから説明欄(3)は職員の人件費ということで、地域包括支援センター保健師2名の職員人件費となっております。

289ページ、目3任意事業費は、予算額439万円で、前年度比較16万9,000円の増となります。

290ページになります。目4在宅医療・介護連携推進事業費は、予算額79万1,000円で、前年度比較23万7,000円の減となります。医療、介護の連携推進のための研修経費、それから情報共有ツールの使用料を計上しておりますが、前年度に3年ごとに作成の事業啓発り

ーフレット印刷製本費18万7,000円の皆減が主な要因となっております。

目5生活支援体制整備事業費は、予算額650万2,000円で、前年度比較27万円の増となります。この事業は、支えられる側も支える側になり得る住民の支え合いの仕組みづくりを推進するための生活支援コーディネーターの人件費、それから協議体が行います事業などの経費を計上しております。

目6認知症総合支援事業費は、予算額131万円、前年度比較10万9,000円の増となります。認知症について気軽に話し合う場であります介護カフェ運営等に係る経費ですとか認知症講演会経費等を計上しております。

続きまして、292ページになります。款4項1目1基金積立金は、予算額1万1,000円で、前年度比較3,000円の減額となります。

293ページになりますが、款5諸支出金、294ページになりますけれども、款6の予備費につきましては、前年との同額となっております。

続きまして、歳入に移らせていただきます。274ページ御覧ください。274ページ、款1項1介護保険料、目1第1号被保険者保険料は、予算額6,861万7,000円で、前年度比較407万3,000円の増です。令和3年度からは、月額5,700円の基準保険料にて算定した額を予算額としております。

275ページ、款2使用料及び手数料は、予算額10万5,000円で、前年度比較1万5,000円の増となります。こちらは、シルバーハウジングの生活援助員の派遣手数料となっております。

276ページ、款3国庫支出金、項1国庫負担金、目1介護給付費負担金は、予算額6,007万4,000円で、前年比較44万7,000円の増となります。

項2国庫補助金、目1調整交付金は、予算額1,565万1,000円、前年度比較8万6,000円の増となります。

両科目とも歳出の保険給付費の増加によるものとなっております。

目2地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業）は、予算額416万2,000円、前年度比較115万8,000円の増で、歳出の款3地域支援事業費、項1介護予防・日常生活支援総合事業費に交付されるものとなっております。

目3地域支援事業交付金（その他事業）は、予算額1,464万2,000円で、前年度比較12万2,000円の増となっております。歳出の款3地域支援事業費、項2包括的支援事業・任意事業費に交付されるものとなっております。

目4保険者機能強化推進交付金は、予算額57万8,000円で、前年度比較7万8,000円の増となります。介護保険法の改正によりまして、市町村及び都道府県に自立支援、重度化防止の取組に対する支援として交付されておりました、介護予防事業に充てることになっております。

目5介護保険保険者努力支援交付金は、予算額51万1,000円で皆増となります。介護予防軽減、悪化の防止に関する取組に対して交付されているものであります。

277ページになります。款4項1支払基金交付金、目1介護給付費交付金は、予算額8,451万9,000円で、前年度比較46万1,000円の増です。保険給付費が増加したため増加したことになっております。

目2地域支援事業交付金は、予算額449万4,000円で、前年比較125万円の増額となっております。まして、歳出の款3地域支援事業費に交付されたものとなります。

278ページ、款5道支出金、項1道負担金、目1介護給付費負担金は、予算額4,166万4,000円、前年度比較11万1,000円の増で、保険給付費の増加によるものです。

項2道補助金、目1地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業）は、予算額208万2,000円、前年度比較58万円の増額で、歳出の款3地域支援事業費、項1介護予防・日常生活支援総合事業費に交付されるものです。

目2地域支援事業交付金（その他事業）は、予算額732万1,000円、前年度比較6万1,000円の増で、歳出の款3地域支援事業費、項2包括的支援事業・任意事業費に交付されるものとなります。

279ページになります。款6財産収入については、介護保険事業基金積立金の利子で3,000円の減額となります。

280ページになります。款7繰入金、項1一般会計繰入金、目1介護給付費繰入金は、予算額3,913万3,000円、前年度比較21万3,000円の増で、歳出で介護給付費が増加したことによるものです。

目2地域支援事業繰入金（介護予防・日常生活支援総合事業）は、予算額208万1,000円で、前年度比較58万円の増です。

目3地域支援事業繰入金（その他事業）は、予算額732万円、前年度比較6万1,000円の増です。

目4低所得者保険料軽減繰入金は、予算額351万4,000円、前年度比較153万円の増で、消費税引上げに伴う軽減措置で介護保険料改定によるものになります。

続いて、目5その他一般会計繰入金は、予算額648万3,000円、前年度比較256万8,000円の減で、節1事務費対象分では62万3,000円の増額、節2その他一般会計繰入金では319万1,000円の減額で、主に介護予防事業に充当されておりました地方創生交付金が終了したことによるものです。

項2目1基金繰入金は、予算額1,234万9,000円で、前年度比較465万1,000円の減となります。予備費分100万円と保険給付費及び事業費の不足分としての繰入れとなります。

281ページ、款8繰越金は、前年と同額となります。

款9諸収入、予算額46万2,000円で、前年度比較18万5,000円の減となります。

項2雑入、目1雑入は、予算額46万1,000円で、前年度比較18万5,000円の減額で、介護予防教室の参加人数の実績によりこちらは計上しております。

以上で介護保険事業の事業勘定の説明を終わらせていただきます。

続きまして、サービス事業勘定の説明をいたします。初めに、歳出になります。304ペー

ジ御覧ください。304ページになります。款1事業費、項1目1居宅介護サービス事業費は、予算額20万9,000円、前年度比較9,000円の減額です。これは、保健福祉課内に設置しております地域包括支援センターの事務費を計上しております。

目2介護予防サービス等事業費は、予算額185万6,000円、前年度比較1万5,000円の増です。地域包括支援センターの業務の一つであります要支援1、要支援2の介護予防サービス計画策定業務の一部を社会福祉協議会へ委託している経費となります。

続きまして、歳入になります。301ページになります。款1サービス収入、項1予防給付費収入、目1介護予防サービス計画費収入は、予算額206万3,000円で、前年度比較6,000円の増額です。要支援1、2の方の介護予防サービス計画の策定に伴いまして、国保連合会から交付されます。

302ページになりますが、こちらは款2繰越金で、303ページ、款3諸収入、どちらとも前年との同額を計上しております。

以上で介護保険の事業勘定、それからサービス事業勘定予算の補足説明を終わらせていただきます。

○議 長 介護保険事業特別会計予算の説明が終わりました。

質疑の発言を許します。

6番、安村さん。

○6番安村議員 274ページの介護保険料の関係で少し附帯説明をお願いしたいというふうに思います。

端的に言いまして、現年度分の介護保険料の1人当たりの負担額が5,700円というご説明をいただきました。それぞれの地域において協議した中で改定やむなしという面もありますけれども、基本的には他町村も参酌しますと多少据え置くところもあったり、いろんな部分での対策がばらばらだということがあります。その中で、更別は多少値段を上げるという形でございますけれども、この対策なかなか難しい部分はあるのですけれども、まず5,700円の算定基準と今後における改定に向けて、多分上がってくる可能性も高いとは思いますが、行政の支援体制も含めて、それら考え方ありましたらご説明いただきたいというふうに思います。

○議 長 新関保健福祉課長。

○保健福祉課長 介護保険料につきましては、今回介護保険事業計画、3年間の計画を立てた中で算定しておりまして、先般介護保険条例のほうも審議していただいたところであります。こちらは、前回の説明もしたとおりなのですが、通常の介護給付費に対して幾らの保険料になるかということですので、単純に介護が多くかかれば高くなりますし、少なければ少ないというのが単純な計算になるかと思っております。こちら向こう3年間の推定ということで、介護の給付見込みということですので、高齢者の方の人数ですとか現在の介護の給付費のかかり方ですとか、あと国のほうでその算定に当たっては係数が設けられておりますので、そういう係数を掛けた中で積算した単価ということで、今回は5,700

円ということで算定しております。実際は5,700円以上の金額にはなるのですけれども、当面介護保険の基金を取り崩した中で、その金額で収めているというような形で捉えております。まともにいけば6,000円近くになるかと思うのですけれども、急激な負担上昇を抑えるというふうなことで考えております。ただ、基本的には利用者の負担がかからないといながらも、実際その部分をどこで負担するかということは当然議論になってきますので、今のところは基金の状況を見ながら充当はしているのですけれども、先々どこまで基金がもつかということもありますので、常に3年ごとに計画は見直しをしながら進めていきますから、その都度の考えを整理しなければいけないと思っております。

どちらにしても、これからも介護関係はどうしても経費が上がってくるというようなこともあるものですから、負担にならないような形でと思うのですけれども、そこについては先ほど言ったように3年ごとの見直しの中で協議ということになりますので、今回についてはそのような形での計上になっております。

○議 長 6番、安村さん。

○6番安村議員 ご説明いただいた内容については、ある程度理解していかなければならない、住民も含めて理解していただかなければならないということは重々承知しておりますけれども、ただ、今の段階の見直しの中で月5,700円という形でございますけれども、実質的には年金等の収入だけの生活者になってくると、かなりの負担増になってくるということがあります。それらを踏まえた中で行政として、負担をしていただくというのは原理原則なのですけれども、国民年金のみで生活される方には困窮するという部分の内包されている危惧があるということを十分認識しながら、これからの対応も含めて検討していただきたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議 長 新関保健福祉課長。

○保健福祉課長 先ほど言ったように負担については、まず基本的にはかかった分を計算してということですが、その都度それに対する対応をどうするかというのは、先ほど言ったように3年ごとの計画がありますので、そのときごとの社会情勢や何かも踏まえて検討せざるを得ないのかなと思っておりますので、次回のこれからの計画策定に当たってもまたそこら辺の状況を見ながら判断していきたいなとは思っております。

○議 長 ほかにありませんか。

(なしの声あり)

○議 長 これで介護保険事業特別会計予算の質疑を終了いたします。

次に、令和3年度更別村簡易水道事業特別会計予算の質疑を行います。

歳入歳出一括をして補足説明を求めます。

佐藤建設水道課長。

○建設水道課長 それでは、令和3年度更別村簡易水道事業特別会計予算書の補足説明をさせていただきます。

別冊でお願いいたします。初めに、令和3年度更別村簡易水道事業特別会計予算実施計

画の収益的収入及び支出から説明させていただきます。この予算は、第3条で収益的収支を定めており、水道事業の経営活動に伴い発生する収益とその対応する費用を計上しております。

3 ページ御覧いただきたいと思います。収入になります。款1 簡易水道事業収益、予算額1億4,738万8,000円、前年度比較1,446万8,000円の増であります。

項1 営業収益、予算額9,070万6,000円、前年度比較439万3,000円の増で、目1 水道使用料の増であります。

項2 営業外収益、予算額5,668万2,000円、前年度比較1,007万5,000円の増であります。

目1 負担金は、幕別町から共同施設維持管理負担金で前年度比66万8,000円の増。

目2 長期前受金戻入は、過去に整備した水道施設に係る国庫補助金を毎年度収益化する現金を伴わない収益で16万円の増。

目3 消費税還付金は、令和3年度に発生したものを計上する発生主義のため、令和4年度は還付の見込みであることから880万3,000円の増であります。

目4 雑収益は、道営営農用水事業補助業務委託金などで44万4,000円の増であります。

4 ページ御覧いただきたいと思います。支出であります。款1 簡易水道事業費用、項1 営業費用、目1 原水及び浄水費、予算額3,742万1,000円、前年度比較70万円の増であります。主なものは、修繕費で水道施設漏水調査による修繕費の減などで57万1,000円の減、負担金で中札内共同施設維持管理負担金で138万1,000円の増などによるものであります。

目2 配水及び給水費、予算額583万7,000円、前年度比較248万3,000円の減であります。主なものは、委託料で隔年で実施の水道施設漏水調査委託料で300万円の皆減、水道施設保守点検委託料で16万9,000円の増、手数料では3年に1度実施の水質検査手数料の全項目分などで29万9,000円の増などによるものです。

目3 総係費、予算額2,337万8,000円、前年度比較93万2,000円の増であります。給料、5ページの手当、賞与引当金繰入額、法定福利費は、職員2名分の人件費で、詳細は9ページの給与費明細書をご参照ください。その他主なものは、負担金が北海道自治体情報システム協議会負担金で企業会計システム等の65万7,000円の増が主なものであります。

6 ページを御覧いただきたいと思います。目4 減価償却費、予算額6,342万7,000円、前年度比較165万3,000円の増であります。配水池、量水器や配水管路などが対象となっており、現金を伴わないものであります。

項2 営業外費用、目1 支払利息及び企業債取扱諸費は、予算額93万1,000円、前年度比較28万2,000円の減で、企業債利息の減が主なものであります。

目2 消費税は、発生主義のため令和3年度に発生したものを計上するため、令和4年度は還付の見込みであることから前年度の2分の1の納付のみのため、前年度比較37万1,000円の減となります。

目3 予備費は、予算額100万円で、前年度対比90万円の増となっております。緊急時に漏水調査が行えるよう措置したものです。

続きまして、資本的収入及び支出の説明をさせていただきます。この予算は、第4条で資本的収支を定めており、主に水道事業を継続して維持するための建設改良費を計上するものであります。

7ページ御覧いただきたいと思います。収入になります。款1簡易水道事業資本的収入、項1補助金、目1一般会計補助金は、総務省基準内の一般会計からの公債費分の繰入金で、予算額797万9,000円、前年度比較4万3,000円の増であります。

項2負担金、目1負担金は、給水工事負担金で9万円の減であります。

項3企業債、目1企業債は、簡易水道事業債、過疎対策事業債を合わせ、道営営農用水事業分で前年度は新コムニ団地配水管布設の事業がありましたので、差引き1億1,120万円の増であります。

項4出資金、目1他会計出資金は皆減で、前年度に錦町消火栓改修工事分として一般会計の出資金がありました。

8ページ御覧いただきたいと思います。支出になります。款1簡易水道事業資本的支出、項1建設改良費、目1水道施設費、予算額1億4,520万5,000円、前年度比較1億1,036万3,000円の増となっております。主なものは、工事請負費、設置工事費では前年度に行った錦町消火栓改修工事で120万円の皆減、負担金は1億1,273万円の増で、道営営農用水事業の北海道への負担金などが主なものとなっております。委託料は136万7,000円ですが、皆減で、前年度の新コムニ団地の配水管の調査委託分であります。事業概要は、別添の令和3年度簡易水道事業特別会計予算資料、1の建設事業調をご参照いただきたいと思っております。

項2企業債償還金、目1企業債償還金は、予算額1,497万円、前年度比較36万8,000円の増となっております。

項3投資、目1出資金は、予算額9万円、前年度比較13万円の減であります。

9ページから12ページには給与費明細書があります。13ページは債務負担行為に関する調査、公債費の状況については14ページ、15ページからはキャッシュフロー、貸借対照表を添付しておりますので、ご参照いただきたいと思っております。

以上で補足説明とさせていただきます。

○議 長 簡易水道事業特別会計予算の説明が終わりました。

質疑の発言を許します。ありませんか。

(なしの声あり)

○議 長 これで簡易水道事業特別会計予算の質疑を終了いたします。

次に、令和3年度更別村公共下水道事業特別会計予算の質疑を行います。

歳入歳出一括して補足説明を求めます。

佐藤建設水道課長。

○建設水道課長 令和3年度更別村公共下水道事業特別会計予算書の補足説明をさせていただきます。

別冊でお願いいたします。初めに、令和3年度更別村公共下水道事業特別会計予算実施計画の収益的収入及び支出から説明させていただきます。この予算は、第3条で収益的収支を定めておまして、下水道事業の経営活動に伴い発生する収益とそれに伴う費用を計上してございます。

3 ページ御覧いただきたいと思います。収入になります。款1下水道等事業収益、予算額1億4,958万4,000円、前年度比較2,183万1,000円の増であります。

項1営業収益、目1下水道使用料は、予算額5,119万4,000円、前年度比較111万3,000円の増であります。

項2営業外収益、予算額9,839万円、前年度比較2,071万8,000円の増であります。

目1一般会計補助金は、帯広財務事務所のアドバイスを受けまして、償還年数の計算とか納税措置のために余剰予算から高資本対策分と分流式下水道等に要する経費分を移動し、1,832万4,000円の増としております。

目2長期前受金戻入は、過去に整備した下水道施設に係る国庫補助金を毎年度収益化する現金を伴わない収益で、前年度比較19万9,000円の増。

目3消費税及び地方消費税還付金は、令和3年度に発生したものを計上するもので、令和4年度に還付の見込みであることから219万5,000円の増であります。

目4雑収益は、前年度同額となっております。

4 ページ御覧いただきたいと思います。支出になります。款1下水道等事業費用、項1営業費用、目1管渠費、予算額131万8,000円で、前年度比較5万4,000円の増であります。

目2処理場費、予算額7,570万7,000円、前年度比較731万3,000円の増で、主なものとしたしまして備用品費では2年に1度の脱臭装置吸着剤購入などで90万円の増、光熱水費は実績により93万6,000円の減、委託料は722万1,000円の増で、主なものは浄化センター維持管理委託料は労務単価の上昇により公共、農集を合わせ432万2,000円の増、(個排)処理施設維持管理委託料は設置基数の増などにより278万6,000円の増となっております。

5 ページを御覧いただきたいと思います。目3総係費、予算額952万円、前年度比較138万4,000円の増であります。給料、手当、賞与引当金繰入額、法定福利費は、職員1名分の人件費で、詳細は10ページの給与費明細書を御覧いただきたいと思います。その他主なものは6ページを御覧いただきたいと思います。負担金は、(公共)北海道自治体情報システム協議会負担金で、企業会計システム等の65万7,000円の増が主なものであります。

目4減価償却費、予算額9,708万2,000円、前年度比較136万5,000円の増で、主に浄化センター施設、新コムニ団地などの下水管路などが対象となっており、現金を伴わないものであります。

項2営業外費用、目1支払利息及び企業債取扱諸費は、予算額703万5,000円、前年度比較47万2,000円の減で、企業債利息の減が主なものであります。

7 ページを御覧いただきたいと思います。項3予備費、目1予備費は、予算額100万円で、前年度比較90万円の増となっております。緊急時の修理に対応できるよう措置したもので

あります。

続きまして、資本的収入及び支出の説明をさせていただきます。この予算は、第4条で資本的収支を定めておりまして、主に下水道事業等を継続して維持するための建設改良費を計上するものであります。

8ページを御覧いただきたいと思います。収入であります。款1下水道等事業資本的収入、項1企業債、目1企業債は、予算現額4,820万円、前年度比較1,420万円の増で、公共では更別浄化センター監視制御設備外更新工事負担金分で、個排は個別排水処理施設整備事業分となっております。

項2出資金、目1他会計出資金、予算現額5,414万3,000円、前年度比較2,831万3,000円の増で、主な要因は公共、農集、個排を合わせ、起債償還分で3,009万6,000円の増、整備費分で178万3,000円の減であります。

項3負担金、目1負担金は、予算現額133万1,000円で、前年度比較12万8,000円の増であります。

項4補助金、目1国庫補助金は、予算現額2,240万円、前年度比較2,040万円の増で、更別浄化センター監視制御設備ほか更新で2,090万円、計測設備更新で50万円、マンホールポンプ非常通報装置ほか更新で100万円であります。

目2他会計補助金は、予算現額484万9,000円、前年度比較3,529万1,000円の減で、一般会計からの基準繰入金であります。高資本対策分と分流式下水道等に要する経費分は、帯広財務事務所のアドバイスを受け、3条予算へ移動しております。

目3長期貸付金返済収入は、前年度に個排の長期貸付金返済収入40万円計上しておりましたが、長い間実績がないことから休止としております。

9ページを御覧いただきたいと思います。支出であります。款1下水道等事業資本的支出、項1建設改良費、目1建設改良費等、予算額8,537万5,000円、前年度比較3,308万3,000円の増で、主なものとして委託料で昨年度実施の更別浄化センターの実施設計で400万円の皆減、新コムニ団地下水道の調査設計で407万5,000円の皆減、工事請負費では公共柵設置工事費、(個排)設置工事費で91万2,000円の減、負担金では更別浄化センターの監視制御設備外更新工事負担金で4,100万円の計上をしてございます。事業概要は、別添の令和3年度公共下水道事業特別会計予算資料、1の建設事業調をご参照いただきたいと思います。

項2の企業債償還金、目1企業債償還金の予算額は、4,572万4,000円、前年度比較231万2,000円の増であります。

項3投資、目1長期貸付金は、前年度に個排の水洗便所改造等預託金を40万円計上してございましたが、長い間これも実績がないことから休止としていただいております。

なお、給与費明細書については10から13ページ、14ページは継続費に関する調書、公債費状況については15ページ、16ページからはキャッシュフロー、貸借対照表を添付してございますので、ご参照いただきたいと思います。

以上で補足説明とさせていただきます。

○議 長 公共下水道事業特別会計予算の説明が終わりました。

質疑の発言を許します。

2番、上田さん。

○2番上田議員 4ページの委託料の中で、確認したいというか、教えていただきたいのですけれども、浄化センターの維持管理委託に関して、先ほど人件費の高騰というふうに言われたような感じするのですけれども、それと個排の部分の維持管理委託料についてもアップ率は17.4ですか、それから浄化センターの維持管理委託については16.6%アップしたというふうに、昨年と比較してそういうふうになるのですけれども、そこに働く人たちが増えてそうなったのか、多分人件費の高騰だということですから、そういうような事情があったと思うのですけれども、もう少し詳しく説明していただきたいなと思います。

○議 長 佐藤建設水道課長。

○建設水道課長 先ほどこの件につきましては、労務単価の増ということで申し上げているところであります、前回の労務の単価でありますと、金額でいうと2万100円ということで積算という形で算出しているところでありますが、今回につきましては2万1,300円ということで、かなり上昇しているという中で積算をしたところ今回の額ということになったということで、単価の増というのが主な要因ということになってございます。

○議 長 2番、上田さん。

○2番上田議員 そういうことで上がったのだらうとは思いますが、それが本当に妥当なのかどうかというのは今私のほうからは言えませんが、要するに下水道会計ですから、企業会計ですから、当然使用料にも影響しているというようなことで、その辺吟味した中での増額だったのだらうというふうには理解したいのですけれども、そういうことでよろしいのでしょうか。

○議 長 佐藤建設水道課長。

○建設水道課長 おっしゃられているとおり、下水道会計については厳しい状況であるということもありますので、吟味した結果という形で今回提出させていただいております。

○議 長 ほかにありませんか。

(なしの声あり)

○議 長 これで公共下水道事業特別会計予算の質疑を終了いたします。

各特別会計予算について質疑を進めてまいりましたが、質疑の発言漏れがあれば承りたいと思います。

発言に当たっては、ページ、会計、項目、事業等を明らかにしていただきます。

質疑の発言を許します。よろしいですか。

(なしの声あり)

○議 長 以上で各特別会計予算の質疑を終了いたします。

議案第43号 令和3年度更別村一般会計予算の件について討論を行います。

討論の発言を許します。

(なしの声あり)

- 議 長 これで討論を終了いたします。
これから採決を行います。
本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

- 議 長 異議なしと認めます。
したがって、本案は原案のとおり可決されました。
議案第44号 令和3年度更別村国民健康保険特別会計予算の件について討論を行います。
討論の発言を許します。

(なしの声あり)

- 議 長 これで討論を終了いたします。
これから採決を行います。
本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

- 議 長 異議なしと認めます。
したがって、本案は原案のとおり可決されました。
議案第45号 令和3年度更別村後期高齢者医療事業特別会計予算の件について討論を行います。
討論の発言を許します。

(なしの声あり)

- 議 長 これで討論を終了いたします。
これから採決を行います。
本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

- 議 長 異議なしと認めます。
したがって、本案は原案のとおり可決されました。
議案第46号 令和3年度更別村介護保険事業特別会計予算の件について討論を行います。
討論の発言を許します。

(なしの声あり)

- 議 長 これで討論を終了いたします。
これから採決を行います。
本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

- 議 長 異議なしと認めます。
したがって、本案は原案のとおり可決されました。
議案第47号 令和3年度更別村簡易水道事業特別会計予算の件について討論を行います。

討論の発言を許します。

(なしの声あり)

○議 長 これで討論を終了いたします。

これから採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長 異議なしと認めます。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

議案第48号 令和3年度更別村公共下水道事業特別会計予算の件について討論を行います。

討論の発言を許します。

(なしの声あり)

○議 長 これで討論を終了いたします。

これから採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長 異議なしと認めます。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

この際、午後2時35分まで休憩いたします。

午後 2時18分 休憩

午後 2時35分 再開

○議 長 休憩前に引き続き会議を開きます。

◎日程第9 村政に関する一般質問

○議 長 日程第9、村政に関する一般質問を行います。

順次発言を許します。

3番、小谷さん。

○3番小谷議員 ただいま議長の許可をいただきましたので、通告に基づき村政執行方針について、中でも新型コロナウイルスワクチン接種につきまして村長に質問させていただきます。

本議会開会に当たり、村長より令和3年度村政執行方針を拝聴し、多くの目標と様々な課題解決にはもはや検討を重ねるときではなく、直ちに行動し、コロナ禍であっても行政は子どもからお年寄りまで住民の皆さん一人一人の将来に決して不安を抱かせてはならないとも強くおっしゃいました。そして、20年、30年後も豊かで持続可能な更別村であるよ

う私たち住民と行政とが信頼関係の中で、共に歩みを進めていかななくてはならないと再確認した次第でございます。

さて、世界中が新型コロナウイルスの猛威や困難との闘いで約1年、コロナ禍での新たな日常、新たな生活様式の中、今住民が心配されていることの一つには新型コロナウイルスワクチン接種があります。一筋の光が差したとすれば、2月17日、新型コロナウイルスワクチンの国内先行接種開始でありました。待ちに待った十勝管内到着が3月5日(3,900回分)、8日には基幹病院に配分され、医療従事者の接種開始となりました。厚生労働省のまとめによれば3月9日現在での国内ワクチン接種実績は、全国445医療機関、計10万7,558回、また道内では3月10日現在、新型コロナウイルスの道内感染者は延べ1万9,663人、十勝管内感染者が延べ829人と報道されました。

次に、道は65歳以上の高齢者向けワクチンが帯広市に1箱、約1,000回分など22自治体に新年度4月5日の週から下旬にかけて保健所設置市など各地域に配分、国によれば4月12日に一部地域で接種開始予定で、同月26日の週には全ての市町村にワクチン配付の計画とのこと。そこで、次の3点について質問いたします。

1点目、あくまでも予定、計画段階と承知した上で、ワクチン配付の状況は見えてきているのでしょうか。お伺いさせていただきます。

2点目、ワクチン接種の円滑で確実な実施に向けて、各自治体では医療、保健機関など連携で接種体制のシミュレーションなども行われているかと存じますので、本村の取組をお伺いさせていただきます。

3点目、国では、夏以降に16歳以上の一般の方への接種開始予定とし、全て接種を受ける際、同意の下で接種が行われ、接種の強制や接種を受けていない方に差別的な扱いがなきようにとのこととあります。この点は危惧される所であり、見解をお聞かせ願いたいと存じます。お願いいたします。

○議 長 西山村長。

○村 長 小谷議員さんの新型コロナウイルスワクチン接種につきましてのご質問にお答えをいたしたいと思えます。

ご質問の新型コロナワクチン接種についてであります。いまだ終息の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症の発生の状況に対処するため、予防接種法の臨時接種に関する特例が設けられ、国の指示の下、都道府県の協力により市町村においても予防接種を実施することとなりました。更別村においても国の通知等に沿って準備を進めておりますが、国からの情報は日々修正等が加わることが多いため、大変苦慮しているところであります。

ご質問の1点目、ワクチンの配付の状況についてであります。当初の予定から遅れている状況でしたが、3月12日に行われた自治体向け説明会で、4月26日の週に全ての市区町村にファイザー社のワクチンが1箱配付されるとの説明がありました。そのため4月中旬には高齢者を対象に接種券、クーポン券を発送、予約受付を開始し、ワクチンが到着次第速やかに接種を開始する予定となります。配付される1箱は、2回接種でおおよそ480

名分のワクチンの量になります。その後6月末までには高齢者2回接種分が配付される見込みとのものでありますので、ワクチンが予定どおり順調に配付されることを期待をしております。

続きまして、ご質問の2点目、本村の取組についてであります。現在検討しています接種体制についてご報告をさせていただきます。まず、ワクチンの接種場所についてありますが、更別村国民健康保険診療所で実施、接種日時は水曜日、金曜日の午後1時半から午後4時半、医師2名体制で1日140名の接種を計画しております。ワクチンの接種時間帯は、通常診療は休診としますが、定期受診者、急患等は診察を行う予定であります。現在国保診療所では、夜間、休日等も急患等の診療を行っておりますので、通常の診療体制に影響が出ないようワクチン接種は夜間、休日等は予定はしておりませんので、ご理解をいただきたく存じます。

なお、ワクチン接種全般の相談対応は保健福祉課、ワクチン接種予約は国保診療所で行います。

なお、ワクチン接種は、国保診療所の全面的な協力の下実施をしますが、実施主体である保健福祉課と合同で2月25日に接種体制の動作確認等シミュレーションを実施をし、受付場所や人員配置などについて見直しを行い、また限られた時間内でワクチン接種を効率よく行うため受付に保健師配置を再確認するなど、接種開始に向けた体制整備を行っております。

最後に、3点目であります。接種の強制、差別的な扱いがないようにについてありますが、ワクチン接種はコロナウイルスに感染した場合に発症や重症化を予防する効果が期待をされています。強制接種ではなく、あくまでも本人の意思に基づいて受けていただくものであります。しっかり情報提供を行った上で、ワクチン接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、接種を受ける方の同意がある場合に限り接種を行うこととなります。

なお、接種を行うと接種済み証が発行されます。接種を望まない人に対し、接種を強要することはできないとすることは当然でありますし、また接種を受けたり、受けなかったりすることで差別をすることは適切ではありませんので、村としても接種済み証の提示を条件とする事業等は全く考えておりません。希望する方が速やかにワクチン接種を受けることができるよう引き続き体制整備に取り組んでまいりたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議 長 3番、小谷さん。

○3番小谷議員 ただいま村長から詳しく答弁をいただきました。大変ありがとうございました。

このコロナ禍での日々の生活であります。一人一人がマスク、手指消毒、そしてソーシャルディスタンスが日常となりまして、テレビや新聞、あるいは個々の情報収集方法にて新型コロナウイルスワクチン接種がいつ頃なのかと大変心配しておられる状況ではないか

と思いました。どんなときにも住民の皆様の暮らしの安心、安全のために情報提供は、特に今回の件に関しましても大変重要と考えているところであります。

まず、1点目のお答えをいただきまして、3月12日の自治体向けの説明会、4月26日の週から全ての市区町村にワクチン1箱配付との話でありました。これでスケジュール的には4月中旬に高齢者対象でお話ございましたクーポン券、接種券の発行、そして予約受付開始、続いてワクチン到着次第速やかに接種開始というお話をちょうだいいたしまして、大変安心したところがございます。そこで、このとても大事な、大切なワクチンですが、高齢者の中にはご自宅、また施設等での生活と様々な生活があると存じますので、どのような順番、または今時点で対応を考えておられるのか、その点お聞きをしたいと思っております。

続きまして、2点目には本村接種体制、取組状況を詳しくお答えいただきました。ありがとうございます。更別村国民健康保険診療所において水曜日、金曜日と、午後1時半から4時半、医師2名で1日140名の接種計画とのお話、また2月25日に接種体制シミュレーションの実施がなされまして、いよいよ着実に近づいてきたことの確認ができました。その動作確認の中で、接種後の待機時間中、体調変化等で明らかに副反応が現れた場合の対応などを少々お伺いをさせていただきたいと存じます。

3点目の中で、国の指針にもあるとおり、あくまでも本人の意思で、もちろん同意の下新型コロナウイルスワクチンの接種がなされる、そして接種を受ける、受けないで差別は適切ではないとお答えもございました。そうあってほしいものでございますし、互いに留意しなければなりません。私として理解させていただきました。

さきに申しあげました2点につきまして村長に再度質問させていただきます。

○議 長 西山村長。

○村 長 今小谷議員さんから質問がありました。2点ありましたけれども、1点目ですけれども、優先順位ということでもありますけれども、医療従事者ということで最初はあります。1番目には、高齢者ということで65歳以上の方が1,016人おられます。基礎疾患を有する方というのは、行政で人数は正確には把握はできません。これは自己申告というふうになります。あと、順番としましては高齢者施設の従事者、今52人いるわけですがけれども、その方たちも考えております。その他の方については、16歳以上の対象者、総数は2,720人おるところであります。

接種スケジュールですけれども、4月中旬に高齢者向けクーポン券の発送ということで予約を開始します。4月26の週に1箱、487人、975回分ということで、速やかに届き次第接種を開始するということでもあります。高齢者施設を優先したいということで、今66名の方がおられます。この方たちについては、施設での接種、コムニの里は29名、グループホーム元気の里18名、国保診療所ですけれども、支援ハウス19名ということで、この方たちを先にしたいと。それと、高齢者施設の従事者、この方たちも日々対応に当たっていただいているわけですがけれども、52人は優先順位は2番目というふうを考えられますけれども、できれば同時に接種をしたいというふうに考えたいと思っております。理由は、高齢者施設のク

ラスターが多いということでもあります。

2つ目の副反応ですけれども、先日の令和3年2月20日、更別村保健福祉課が出しました新型コロナワクチン接種のお知らせの中で、接種場所のところで接種後30分間は接種場所で経過観察を行います。治療中の方については、かかりつけ医にご相談くださいということで、副反応が出た場合については直ちに医療体制が取れる体制を整えておりますので、そのような形で対応していきたいというふうに考えております。

以上であります。

○議 長 3番、小谷さん。

○3番小谷議員 説明をいただきまして、ありがとうございました。

日本中がこのコロナワクチンを待ち望んで、また先行接種も医療従事者をはじめといたしまして行われているところでありますけれども、日本中が史上最大の作戦と言われているこのワクチンの接種であります。確認も含めまして、国の指示の下、道が協力、市町村が主体で実施をすることと伺っておりますが、1つといたしましては接種回数は1人につきもちろん2回ということでもあります。2つ目に、住民票所在地での接種が原則、3つ目には接種費の自己負担はないということでありまして、4つ目には接種券、クーポン券の発送などということで、先ほど村長のお答えの中にも含まれていたかと存じます。

また、お伺いしたいところなのですが、超低温の冷凍庫が国が一括調達ということで各自治体に無償提供ということのようでもありますけれども、その予定をお教えいただきたいなとも思っております。

最後になりますけれども、もちろん強制ではないけれども、感染症の予防の対策の手段として、また重症化を防ぐためにもたくさんの方が接種なされるように私も望んでいるところであります。まだまだ新型コロナウイルス感染症対策は必要ですし、おのおの油断はできないこの世の中ではありますが、コロナウイルスワクチン接種が村民にとりまして安心と、そして先ほども申しましたけれども、重症化の抑制となりますようお願いを込めまして質問をさせていただきました。最後によろしくお願いいたします。

○議 長 西山村長。

○村 長 ご心配の点も今ご指摘あったとおりに多々あると思います。何よりも速やかに届き次第接種を開始するというところでありますけれども、それに対しまして国保診療所が基本的に接種会場となっておりますので、小分けをする必要はないということと考えておりまして、超低温冷凍庫、ディープフリーザーというのですけれども、これについては3月の26日の金曜日に更別村国保診療所に納品予定であります。これについて保管をしながら、また接種開始時には有効に活用させていただきたいというふうに思っています。

体制整備の面でも、先ほど曜日のことに関して、あるいは接種後30分待機、経過観察ということで、急変の対応ということで看護師さんを配置をしますけれども、そういうようなこととか、職員体制も随時見直しを予定で、明らかになりましたら見直しできますけれども、医師2人ですけれども、看護師3人、事務の方2人、計7名が国保診療所から、保

健福祉課からは保健師2名、事務2名の計4名、合計11名で対応をしていきたいというふうに考えております。

あと、高齢者等ですので、実際に接種会場まで、診療所までの足の確保であるとか、これについても今細かく対応を考えております。いろいろな施設の場所、あるいは訪問診療の方、移送サービスを社協等で受けておられる方、それらも含めて全て対応を立てております。とにかく本人同意ということで、強制ではないということは原則ですけれども、接種を希望される方、希望された村民の方は100%できる限り多くの方に接種をしたいというふうに考えております。

今本当に、この間もお話しましたのですけれども、国からの報告が毎日若干変わったりするような状況とか当初の日程と大幅に遅れているということもありまして、それについて保健福祉課、診療所とシミュレーションもつくっておりますので、速やかに開始された場合、大体どのぐらいの間隔で、どういうふうなところでパーセンテージも何月期までというような形で全部シミュレーションを立てております。できる限り速やかに対応して、安心、安全な生活を村民の皆様に保障していくということで、まずそのワクチンの接種をしっかりやっていくということを職員一丸となってやっていきたいというふうに思っていますので、何とぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上であります。

○3番小谷議員 ありがとうございます。

○議 長 これをもって一般質問を終了いたします。

◎散会の宣告

○議 長 以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日は、これをもって散会いたします。

(午後 2時57分散会)

上記会議の経過は、その内容と相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

更別村議会議長

同 議員

同 議員